



ダイワ ファンドラップ

投資信託説明書(交付目論見書)

2026年9月9日

※本文書は、金融商品取引法(昭和23年法律第25号)第13条の規定に基づく目論見書です。

ダイワファンドラップ セレクト・シリーズ

ダイワファンドラップ 日本 株式 セレクト: 追加型投信/国内/株式

ダイワファンドラップ 外国 株式 セレクト: 追加型投信/海外/株式

ダイワファンドラップ 外国株式セレクト エマージングプラス: 追加型投信/海外/株式

ダイワファンドラップ 日本 債券 セレクト: 追加型投信/内外/債券

ダイワファンドラップ 外国 債券 セレクト: 追加型投信/海外/債券

ダイワファンドラップ 外国債券セレクト エマージングプラス: 追加型投信/海外/債券

ダイワファンドラップ J - R E I T セレクト: 追加型投信/国内/不動産投信(リート)

ダイワファンドラップ 外国 R E I T セレクト: 追加型投信/海外/不動産投信(リート)

ダイワファンドラップ コモディティセレクト: 追加型投信/内外/資産複合

ダイワファンドラップ ヘッジファンドセレクト: 追加型投信/内外/資産複合/特殊型(絶対収益追求型)

ダイワファンドラップ J-REITセレクトは特化型運用を行ないます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

委託会社 [ファンドの運用の指図を行なう者]

大和アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号

委託会社の照会先

ホームページ

<https://www.daiwa-am.co.jp/>

コールセンター

0120-106212 (営業日の9:00~17:00)



受託会社 [ファンドの財産の保管および管理を行なう者]

三井住友信託銀行株式会社

ファンドに関する投資信託説明書(請求目論見書)を含む詳細な情報は委託会社のホームページで閲覧、ダウンロードすることができます。また、本書には約款の主な内容が含まれていますが、約款の全文は請求目論見書に掲載されています。



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

以下、各ファンドの略称としてそれぞれ次を用いることがあります。

ダイワファンドラップ 日本 株 式 セ レ ク ト：FW日本株式セレクト
 ダイワファンドラップ 外 国 株 式 セ レ ク ト：FW外国株式セレクト
 ダイワファンドラップ 外国株式セレクト エマーシングプラス：FW外国株式EM+
 ダイワファンドラップ 日本 債 券 セ レ ク ト：FW日本債券セレクト
 ダイワファンドラップ 外 国 債 券 セ レ ク ト：FW外国債券セレクト
 ダイワファンドラップ 外国債券セレクト エマーシングプラス：FW外国債券EM+
 ダイワファンドラップ J - R E I T セ レ ク ト：FW J-REITセレクト
 ダイワファンドラップ 外 国 R E I T セ レ ク ト：FW外国REITセレクト
 ダイワファンドラップ コモディティセレクト：FWコモディティセレクト
 ダイワファンドラップ ヘッジファンドセレクト：FWヘッジFセレクト

ファンド名	商品分類				属性区分					
	単位型・追加型	投資対象地域	投資対象資産 (収益の源泉)	補足分類	投資対象資産	決算頻度	投資対象地域	投資形態	為替ヘッジ	特殊型
FW 日本株式 セレクト	追加型	国内	株式	—	その他資産 (投資信託証券 (株式 一般))	年1回	日本	ファンド・ オブ・ ファンズ	—	—
FW 外国株式 セレクト	追加型	海外	株式	—	その他資産 (投資信託証券 (株式 一般))	年1回	グローバル (除く日本)	ファンド・ オブ・ ファンズ	なし	—
FW 外国株式 EM+										
FW 日本債券 セレクト	追加型	内外	債券	—	その他資産 (投資信託証券 (債券 一般))	年1回	グローバル (含む日本)	ファンド・ オブ・ ファンズ	あり	—
FW 外国債券 セレクト	追加型	海外	債券	—	その他資産 (投資信託証券 (債券 一般))	年1回	グローバル (除く日本)	ファンド・ オブ・ ファンズ	なし	—
FW 外国債券 EM+										
FW J-REIT セレクト	追加型	国内	不動産投信 (リート)	—	その他資産 (投資信託証券 (不動産投信))	年1回	日本	ファンド・ オブ・ ファンズ	—	—
FW 外国REIT セレクト	追加型	海外	不動産投信 (リート)	—	その他資産 (投資信託証券 (不動産投信))	年1回	グローバル (除く日本)	ファンド・ オブ・ ファンズ	なし	—
FW コモディティ セレクト	追加型	内外	資産複合	—	その他資産 (投資信託証券 (商品先物、 株式 一般))	年1回	グローバル (含む日本)	ファンド・ オブ・ ファンズ	なし	—
FW ヘッジF セレクト	追加型	内外	資産複合	特殊型 (絶対収益 追求型)	その他資産 (投資信託証券)	年1回	グローバル (含む日本)	ファンド・ オブ・ ファンズ	なし	絶対収益 追求型

※属性区分に記載している「為替ヘッジ」は、対円での為替リスクに対するヘッジの有無を記載しております。

※商品分類・属性区分の定義について

くわしくは、一般社団法人資産運用業協会のホームページ(<https://www.imaj.or.jp/>)をご参照下さい。

〈委託会社の情報〉

委 託 会 社 名	大和アセットマネジメント株式会社
設 立 年 月 日	1959年12月12日
資 本 金	414億24百万円
運用する投資信託財産の 合 計 純 資 産 総 額	45兆9,437億78百万円

(2026年5月末現在)

- 本文書により行なう「ダイワファンドラップ セレクト・シリーズ」の募集については、委託会社は、金融商品取引法第5条の規定により、有価証券届出書を2026年9月8日に関東財務局長に提出しており、2026年9月9日にその届出の効力が生じています。
- 当ファンドは、投資信託約款の内容の重大な変更を行なう場合に、投資信託及び投資法人に関する法律に基づき、事前に受益者の意向を確認する手続きを行ないます。
- 当ファンドの信託財産は、受託会社により保管されますが、信託法によって受託会社の固有財産等との分別管理等が義務付けられています。
- 請求目論見書は、投資者の請求により販売会社から交付されます(請求を行なった場合には、その旨をご自身で記録しておくようにして下さい。)
- ご購入に際しては、本書の内容を十分にお読み下さい。

ファンドの目的・特色

ファンドの目的

各ファンドの目的は、次のとおりです。

ファンド名	ファンドの目的
FW日本株式セレクト	わが国の株式に投資し、信託財産の成長をめざします。
FW外国株式セレクト	海外の株式に投資し、信託財産の成長をめざします。
FW外国株式EM+	
FW日本債券セレクト	円建ての債券 ^(注1) に投資し、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざします。
FW外国債券セレクト	海外の債券に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。
FW外国債券EM+	
FW J-REITセレクト	わが国のリートに投資し、配当等収益の確保と信託財産の中長期的な成長をめざします。
FW外国REITセレクト	海外のリートに投資し、信託財産の中長期的な成長と配当等収益の確保をめざします。
FWコモディティセレクト	コモディティ(商品)に関連する運用を通じて、信託財産の中長期的な成長をめざします。
FWヘッジファンドセレクト	オルタナティブ戦略・資産での運用を通じて、絶対収益 ^(注2) の獲得をめざします。

(注1) 外貨建ての債券に為替ヘッジを行なう場合を含みます。

(注2) 「絶対収益」とは、必ず収益を得るという意味ではなく、市場等の動きに左右されない(相対的でない)収益、という意味です。

(※) 上記10本のファンドを総称して「ダイワファンドラップ セレクト・シリーズ」といいます。

ファンドの特色

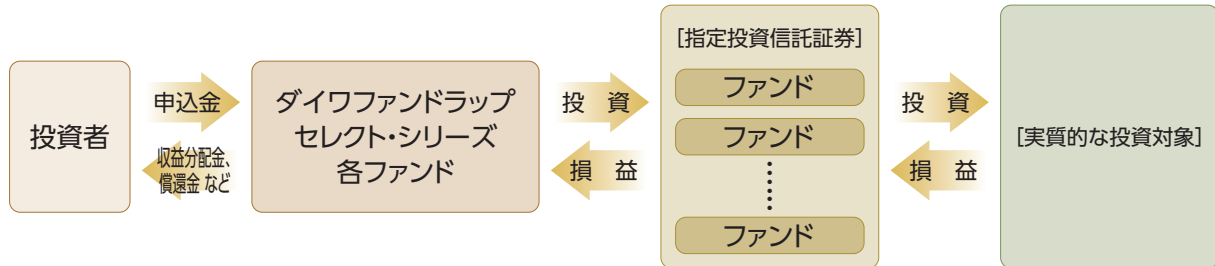
1 「ダイワファンドラップ セレクト・シリーズ」は、投資者と販売会社が締結する投資一任契約に基づいて、資産を管理する口座の資金を運用するためのファンドです。

● 「ダイワファンドラップ セレクト・シリーズ」の購入の申込みを行なう投資者は、販売会社と投資一任契約の資産を管理する口座に関する契約および投資一任契約を締結する必要があります。

2 「ダイワファンドラップ セレクト・シリーズ」を構成する各ファンドは、投資対象が異なり、投資信託証券への投資を通じて実質的な運用を行ないます。

ファンドの仕組み

- 複数の投資信託証券^(注)への投資を通じて、実質的な投資対象に投資を行なう「ファンド・オブ・ファンズ」です。
 - 投資信託証券の組入比率は、通常の状態では高位に維持することを基本とします。
- (注) 以下、「指定投資信託証券」といいます。



ファンド名		指定投資信託証券	実質的な投資対象
FW日本株式セレクト		わが国の株式を実質的な投資対象とする投資信託証券	わが国の株式
FW外国株式セレクト	※1	海外の株式を実質的な投資対象とする投資信託証券	海外の株式
FW外国株式EM+	※1 ※2	海外の株式を実質的な投資対象とする投資信託証券 (新興国の株式を中心に運用を行なう投資信託証券を含みます。)	海外の株式
FW日本債券セレクト		円建ての債券 ^(注) を実質的な投資対象とする投資信託証券	円建ての債券 ^(注)
FW外国債券セレクト	※1	海外の債券を実質的な投資対象とする投資信託証券	海外の債券
FW外国債券EM+	※1 ※2	海外の債券を実質的な投資対象とする投資信託証券 (新興国の債券を中心に運用を行なう投資信託証券を含みます。)	海外の債券
FW J-REITセレクト	※3	わが国のリートを実質的な投資対象とする投資信託証券	わが国のリート
FW外国REITセレクト	※1 ※3	海外のリートを実質的な投資対象とする投資信託証券	海外のリート
FWコモディティセレクト	※1 ※3	コモディティ(商品)に関連する投資信託証券	商品先物取引、資源株等
FWヘッジファンドセレクト	※1 ※3	オルタナティブ戦略・資産で運用を行なう投資信託証券	内外の株式、債券等

※1 保有実質外貨建資産については、為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。

※2 新興国の株式(または債券)を中心に運用を行なう投資信託証券の組入比率は、信託財産の50%を上限とします。

※3 短期の円建債券を実質的な投資対象とする投資信託証券に投資する場合があります。

(注) 外貨建ての債券に為替ヘッジを行なう場合を含みます。

(*) くわしくは、「指定投資信託証券の概要」をご参照下さい。

ファンドの目的・特色

3 指定投資信託証券の選定、組入比率の決定は、株式会社 大和ファンド・コンサルティングの助言を受け、これを行ないます。

助言会社の概要

株式会社 大和ファンド・コンサルティング

設 立：2006年7月25日

住 所：東京都千代田区

事業内容：ファンド評価業務、ファンド・オブ・ファンズに係る運用助言業務、投資一任業務、
年金運用コンサルティング業務

ファンド運用の助言にかかるプロセス

[ファンド運用の助言体制]

大和ファンド・コンサルティング

ファンド調査および経済・市場情報をもとに
運用戦略を構築、ファンドを選定し比率を助言

助言

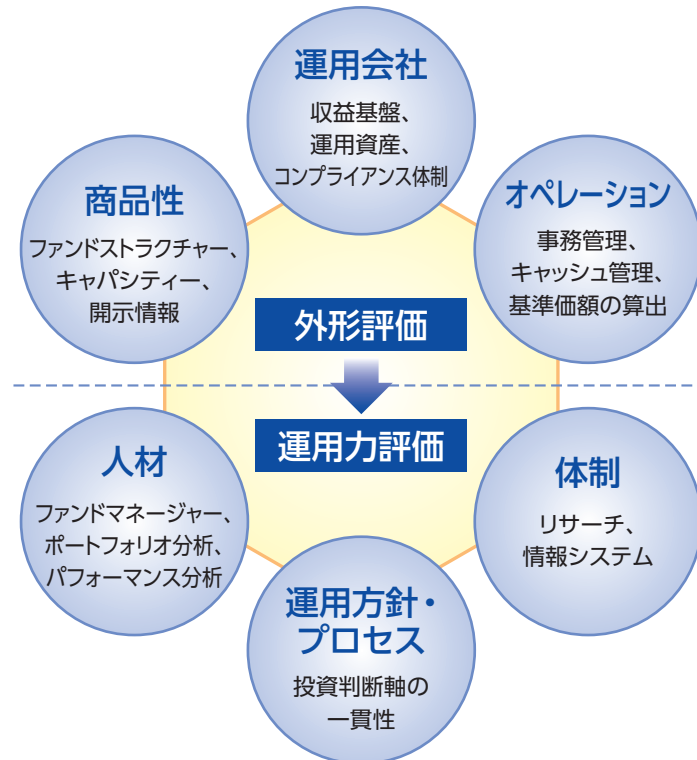
大和アセットマネジメント

ファンド運用の実施

(注) 上記の助言体制は、変更になる場合があります。

助言会社におけるファンド運用の助言にかかるプロセス

〔ファンド選定における着眼点〕



(注) 上記の着眼点については、見直しが行なわれる場合があります。

助言会社におけるファンド運用の助言にかかるプロセス

〔ファンド選定プロセス〕

ファンド運用戦略 ファンド運用戦略の構築、組入れ目的を踏まえた調査計画の立案



パフォーマンス分析 ファンドデータベース等より調査候補ファンドを抽出、分析



ファンド調査 運用会社に対する書面審査、訪問調査、運用評価



投資判断 投資適格性、魅力度等を判断し、推奨ファンドを決定

(注) 上記のプロセスについては、見直しが行なわれる場合があります。

大量の追加設定または解約が発生したとき、市況の急激な変化が予想されるとき、償還の準備に入ったとき等ならびに信託財産の規模によっては、ファンドの特色2.および3.の運用が行なわれないことがあります。

ファンドの目的・特色

4 毎年6月15日(休業日の場合翌営業日)に決算を行ない、収益分配方針に基づいて収益の分配を行ないます。

〈分配方針〉

- ①分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とします。
 - ②原則として、基準価額の水準等を勘案して、委託会社が決定します。ただし、分配対象額が少額の場合および基準価額の水準によっては、分配を行わないことがあります。
- ※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

主な投資制限

FW日本株式セレクト、FW日本債券セレクト

- ①株式への直接投資は、行ないません。
- ②投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。
- ③同一銘柄の投資信託証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の50%以下とします。
ただし、約款または規約においてファンド・オブ・ファンズにのみ取得されることが定められている同一銘柄の投資信託証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の50%を超えることができるものとします。
- ④外貨建資産への直接投資は、行ないません。

FW外国株式セレクト、FW外国株式EM+、FW外国債券セレクト、FW外国債券EM+、FWヘッジファンドセレクト

- ①株式への直接投資は、行ないません。
- ②投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。
- ③同一銘柄の投資信託証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の50%以下とします。
ただし、約款または規約においてファンド・オブ・ファンズにのみ取得されることが定められている同一銘柄の投資信託証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の50%を超えることができるものとします。
- ④外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

FW J-REITセレクト

- ①株式への直接投資は、行ないません。
- ②投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。
- ③外貨建資産への直接投資は、行ないません。

FW外国REITセレクト、FWコモディティセレクト

- ①株式への直接投資は、行ないません。
- ②投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。
- ③外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

FW J-REITセレクトの特化型運用について

- 一般社団法人資産運用業協会が定める「信用リスク集中回避のための投資制限」(分散投資規制)では、投資対象に支配的な銘柄が存在するまたは存在する可能性が高いファンドを特化型運用ファンドとしています。支配的な銘柄とは、次のいずれかの割合が10%を超える銘柄をいいます。
 - 投資対象候補銘柄の時価総額に占めるその銘柄の時価総額の割合
 - 運用管理等に用いる指数に占めるその銘柄の構成割合
- FW J-REITセレクトは、実質的な主要投資対象に支配的な銘柄が存在するまたは存在する可能性が高い特化型運用ファンドです。このため、特定の銘柄へ投資が集中することがあり、発行体に経営破綻や経営・財務状況の悪化などが生じた場合には、大きな損失が発生することがあります。

指定投資信託証券の概要

◆ 下記は投資信託証券(指定投資信託証券)について、目論見書作成時点で委託会社が各投資信託証券の運用会社から入手した情報をもとに記載したものであり、今後、名称変更となる場合、繰上償還等により投資信託証券が除外される場合、新たな投資信託証券が追加となる場合等があります。

●FW日本株式セレクト

投資信託証券	運用会社	主要投資対象
T&D／マイルストーン日本株ファンド(FOFs用) (適格機関投資家専用)	T&Dアセットマネジメント株式会社	わが国の株式
大和住銀ニッポン中小型株ファンド(FOFs用) (適格機関投資家専用)	三井住友DSアセットマネジメント株式会社	
ダイワ・スマート日本株ファンダメンタル・ファンド (FOFs用) (適格機関投資家専用)	大和アセットマネジメント株式会社	
DIAM国内株式アクティブ市場型ファンド(FOFs用) (適格機関投資家専用)	アセットマネジメントOne株式会社	
ダイワ成長株オープン(FOFs用) (適格機関投資家専用)	大和アセットマネジメント株式会社	
ニッセイJPX日経400アクティブファンド(FOFs用) (適格機関投資家専用)	ニッセイアセットマネジメント株式会社	
リサーチ・アクティブ・オープンF (適格機関投資家専用)	野村アセットマネジメント株式会社	
損保ジャパン日本興亜ラージキャップ・バリュー・ ファンド(FOFs用) (適格機関投資家専用)	SOMPOアセットマネジメント株式会社	
日本長期成長株集中投資ファンド (適格機関投資家専用)	ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社	
国内高配当株フォーカス(FOFs用) (適格機関投資家専用)	三井住友DSアセットマネジメント株式会社	
日本株 EVI ハイアルファ(FOFs用) (適格機関投資家専用)	三井住友DSアセットマネジメント株式会社	
日本大型株長期厳選投資(FOFs用) (適格機関投資家専用)	大和アセットマネジメント株式会社	
ダイワ中小型株ファンド(FOFs用) (適格機関投資家専用)	大和アセットマネジメント株式会社	
SMDAMジャパン・ファンダメンタル・アクティブ・ ファンド(FOFs用) (適格機関投資家専用)	三井住友DSアセットマネジメント株式会社	
ラザード日本株式分散型ファンド(FOFs用) (適格機関投資家専用)	ラザード・ジャパン・アセット・マネージメント株式会社	
国内株式リサーチ・バリュー・プラス・ファンド(FOFs 用) (適格機関投資家限定) ^(注)	アセットマネジメントOne株式会社	
グローバルX MSCIスーパーディビデンド ー日本株式 ETF	Global X Japan株式会社	
グローバルX グローバルリーダーズ ー日本株式 ETF	Global X Japan株式会社	

(注)については、2026年9月9日に追加予定です。

追加的記載事項

●FW外国株式セレクト

投資信託証券	運用会社	主要投資対象
ニッセイ／アリアンツ・欧州グロース株式ファンド (FOFs用) (適格機関投資家専用)	ニッセイアセットマネジメント株式会社	欧州の株式
フランクリン・グローバル株式ファンド (FOFs用) (適格機関投資家専用)	フランクリン・テンプルトン・ジャパン株式会社	世界の株式 (日本を除く)
ダイワ／ウエリントン欧州株ファンド (FOFs用) (適格機関投資家専用)	大和アセットマネジメント株式会社	欧州の株式
ダイワ／GQGグローバル・エクイティ (FOFs用) (適格機関投資家専用)	大和アセットマネジメント株式会社	世界の株式
ニッセイ／サンダース・グローバルバリュー株式ファンド (FOFs用) (適格機関投資家専用)	ニッセイアセットマネジメント株式会社	世界の株式 (日本を除く)
グローバル厳選株式ファンド (FoFs用) (適格機関投資家専用)	りそなアセットマネジメント株式会社	世界の株式
アムンディ・米国大型株コア戦略ファンド (適格機関投資家専用)	アムンディ・ジャパン株式会社	米国の株式
ダイワ／ニューメリック 外国株式戦略 (FOFs用) (適格機関投資家専用)	大和アセットマネジメント株式会社	世界の株式 (日本を除く)
ジェニソン外国株式戦略ファンド (FOFs用) (適格機関投資家専用)	大和アセットマネジメント株式会社	世界の株式 (日本を除く)
MFS外国株式コントラリアン厳選バリュー戦略 (FOFs用) (適格機関投資家専用)	大和アセットマネジメント株式会社	世界の株式 (日本を除く)
WCM 先進国成長株厳選ファンド (FOFs用) (適格機関投資家専用)	朝日ライフ アセットマネジメント株式会社	先進国の株式 (日本を除く)
米国大型クオンツ戦略 (FOFs用) (適格機関投資家専用)	大和アセットマネジメント株式会社	米国の大型株式等
ジャナス・ヘンダーソン・グローバル・リサーチ・グロース株式ファンド (除く日本) (FOFs用) (適格機関投資家専用) (注)	大和アセットマネジメント株式会社	世界の株式等 (日本を除く)
ルクセンブルグ籍の外国証券投資法人「ティー・ロウ・プライス・ファンズ・SICAV」が発行する「グローバル・フォーカス・グロース・エクイティ・ファンド」のクラスI投資証券 (円建)	ティー・ロウ・プライス・インターナショナル・リミテッド	世界の株式
ルクセンブルグ籍の外国証券投資法人「キャピタル・インターナショナル・ファンド」が発行する「キャピタル・グループ・グローバル・ニューパースペクティブ・ファンド (LUX)」のクラスP投資証券 (円建)	キャピタル・リサーチ・アンド・マネジメント・カンパニー	世界の株式
グローバルX S&P500キャッシュフロー・トップ100ETF	Global X Japan株式会社	米国の株式

(注)については、2026年9月9日に追加予定です。

●FW外国株式EM+

投資信託証券	運用会社	主要投資対象
ニッセイ／アリアンツ・欧州グロース株式ファンド (FOFs用) (適格機関投資家専用)	ニッセイアセットマネジメント株式会社	欧州の株式
フランクリン・グローバル株式ファンド (FOFs用) (適格機関投資家専用)	フランクリン・テンブルトン・ジャパン株式会社	世界の株式 (日本を除く)
ダイワ／ウエリントン欧州株ファンド (FOFs用) (適格機関投資家専用)	大和アセットマネジメント株式会社	欧州の株式
ダイワ／GQGグローバル・エクイティ (FOFs用) (適格機関投資家専用)	大和アセットマネジメント株式会社	世界の株式
ニッセイ／サンダース・グローバルバリュー株式ファンド (FOFs用) (適格機関投資家専用)	ニッセイアセットマネジメント株式会社	世界の株式 (日本を除く)
グローバル厳選株式ファンド (FoFs用) (適格機関投資家専用)	りそなアセットマネジメント株式会社	世界の株式
アムンディ・米国大型株コア戦略ファンド (適格機関投資家専用)	アムンディ・ジャパン株式会社	米国の株式
ダイワ／ニューメリック 外国株式戦略 (FOFs用) (適格機関投資家専用)	大和アセットマネジメント株式会社	世界の株式 (日本を除く)
ジェニソン外国株式戦略ファンド (FOFs用) (適格機関投資家専用)	大和アセットマネジメント株式会社	世界の株式 (日本を除く)
MFS外国株式コントラリアン厳選バリュー戦略 (FOFs用) (適格機関投資家専用)	大和アセットマネジメント株式会社	世界の株式 (日本を除く)
WCM 先進国成長株厳選ファンド (FOFs用) (適格機関投資家専用)	朝日ライフ アセットマネジメント株式会社	先進国の株式 (日本を除く)
米国大型クオンツ戦略 (FOFs用) (適格機関投資家専用)	大和アセットマネジメント株式会社	米国の大型株式等
ジャナス・ヘンダーソン・グローバル・リサーチ・グロース株式ファンド (除く日本) (FOFs用) (適格機関投資家専用) (注)	大和アセットマネジメント株式会社	世界の株式等 (日本を除く)
バリューパートナーズ高配当株式ファンド (香港籍、米ドル建)	バリューパートナーズ香港リミテッド	アジアの株式
アイルランド籍の外国証券投資法人「マン・ファンズ・ピーエルシー」が発行する「マン・システムティック・エマージング・マーケット・エクイティ」のクラスI投資証券 (円建)	ニューメリック・インベスターズ・エルエルシー	新興国の株式
ルクセンブルグ籍の外国証券投資法人「ティー・ロウ・プライス・ファンズ・SICAV」が発行する「グローバル・フォーカス・グロース・エクイティ・ファンド」のクラスI投資証券 (円建)	ティー・ロウ・プライス・インターナショナル・リミテッド	世界の株式
ルクセンブルグ籍の外国証券投資法人「キャピタル・インターナショナル・ファンド」が発行する「キャピタル・グループ・グローバル・ニューパースペクティブ・ファンド (LUX)」のクラスP投資証券 (円建)	キャピタル・リサーチ・アンド・マネジメント・カンパニー	世界の株式
ルクセンブルグ籍の外国証券投資法人「インベスコ・ファンズ」が発行する「インベスコ エマージング・マーケット・エクイティ・ファンド」のクラスC-Acc投資証券 (円建)	インベスコ・アセット・マネジメント・リミテッド	新興国の株式等
グローバルX S&P500キャッシュフロー・トップ100ETF	Global X Japan株式会社	米国の株式

(注)については、2026年9月9日に追加予定です。

追加的記載事項

●FW日本債券セレクト

投資信託証券	運用会社	主要投資対象
マニユライフ日本債券アクティブ・ファンドM (FOFs用) (適格機関投資家専用)	マニユライフ・インベストメント・マネジメント株式会社	わが国の債券
明治安田日本債券アクティブ・ファンド (FOFs用) (適格機関投資家専用)	明治安田アセットマネジメント株式会社	
ネオ・ジャパン債券ファンド (FOFs用) (適格機関投資家専用)	大和アセットマネジメント株式会社	わが国の債券
大和住銀日本債券アクティブファンド (FOFs用) (適格機関投資家専用)	三井住友DSアセットマネジメント株式会社	わが国の公社債
りそな日本債券ファンド・コア・アクティブ (適格機関投資家専用)	りそなアセットマネジメント株式会社	わが国の債券
フィデリティ外国債券アクティブ・ファンド (為替ヘッジあり) (適格機関投資家専用)	フィデリティ投信株式会社	世界の投資適格債券 (除く日本円)
ネオ・ヘッジ付債券ファンド (FOFs用) (適格機関投資家専用)	大和アセットマネジメント株式会社	先進国通貨建て債券
ピムコ日本債券コア・ファンドⅣ (適格機関投資家専用)	ピムコジャパンリミテッド	わが国の債券
One金利・クレジット型戦略ファンドD (FOFs用) (適格機関投資家限定)	アセットマネジメントOne株式会社	わが国の公社債

●FW外国債券セレクト

投資信託証券	運用会社	主要投資対象
ブランディワイン外国債券ファンド (FOFs用) (適格機関投資家専用)	フランクリン・テンブルトン・ジャパン株式会社	海外の債券
ダイワ欧州債券ファンド (FOFs用) (適格機関投資家専用)	大和アセットマネジメント株式会社	欧州の債券
ダイワ米国債券ファンド (FOFs用) (適格機関投資家専用)	大和アセットマネジメント株式会社	米国の債券
ダイワ／デカ欧州債券アクティブ・ファンド (FOFs用) (適格機関投資家専用)	大和アセットマネジメント株式会社	欧州の債券
ダイワ中長期世界債券ファンド (FOFs用) (適格機関投資家専用)	大和アセットマネジメント株式会社	海外の債券
フィデリティ外国債券アクティブ・ファンド (為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用)	フィデリティ投信株式会社	世界の投資適格債券 (除く日本円)
ウエルントン・グローバル総合債券 (除く日本) ファンド クラスS Q5受益証券 (円ヘッジ無、分配金有) (ケイマン籍、円建)	ウエルントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピー	海外の債券
グローバル・コア債券ファンド (適格機関投資家専用) (ケイマン籍、円建)	PGIMジャパン株式会社	世界の公社債
ブルーベイ欧州総合債券ファンド (ケイマン籍、円建)	RBCグローバル・アセット・マネジメント (UK) リミテッド	欧州の債券
ダイワ・ディスカバリー・ファンド・シリーズ・ダイワ・コア・ボンド・ストラテジー・ファンド (ノンヘッジ・クラス) (ケイマン籍、円建)	グッゲンハイム・パートナーズ・インベストメント・マネジメント・エルエルシー	米ドル建ての債券等
アイルランド籍の外国投資法人「ロード・アベット・グローバル・ファンズ・・ピーエルシー」のサブファンドである「ロード・アベット・ハイイールド・ファンド」の「クラスIー円建て累積投資クラス」	ロード・アベット・アンド・カンパニー エルエルシー	米国のハイ・イールド債券等
ルクセンブルグ籍の外国投資法人「リーガル・アンド・ジェネラル・SICAV」が発行する「L&Gグローバル総合債券ファンド (除く日本)」のクラスC投資証券 (円建)	リーガル・アンド・ジェネラル・インベストメント・マネジメント・リミテッド	世界の投資適格債券

●FW外国債券EM+

投資信託証券	運用会社	主要投資対象
T.ロウ・プライス新興国債券オープンM(FOFs用) (適格機関投資家専用)	三井住友DSアセットマネジメント株式会社	新興国の政府および 政府機関等の発行する 米ドル建ての債券等
ブランディウィン外国債券ファンド(FOFs用) (適格機関投資家専用)	フランクリン・テンブルトン・ジャパン株式会社	海外の債券
ダイワ欧州債券ファンド(FOFs用) (適格機関投資家専用)	大和アセットマネジメント株式会社	欧州の債券
ダイワ米国債券ファンド(FOFs用) (適格機関投資家専用)	大和アセットマネジメント株式会社	米国の債券
ダイワ/デカ欧州債券アクティブ・ファンド(FOFs用) (適格機関投資家専用)	大和アセットマネジメント株式会社	欧州の債券
ダイワ中長期世界債券ファンド(FOFs用) (適格機関投資家専用)	大和アセットマネジメント株式会社	海外の債券
フィデリティ外国債券アクティブ・ファンド (為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用)	フィデリティ投信株式会社	世界の投資適格債券 (除く日本円)
ウエリントン・グローバル総合債券(除く日本)ファンド クラスS Q5受益証券(円ヘッジ無、分配金有) (ケイマン籍、円建)	ウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピー	海外の債券
グローバル・コア債券ファンド(適格機関投資家専用) (ケイマン籍、円建)	PGIMジャパン株式会社	世界の公社債
ブルーベイ欧州総合債券ファンド(ケイマン籍、円建)	RBCグローバル・アセット・マネージメント(UK)リミテッド	欧州の債券
エマージング・マーケット債券ファンド (適格機関投資家専用)(ケイマン籍、円建)	PGIMジャパン株式会社	新興国の債券
ダイワ・ディスカバリー・ファンド・シリーズ・ダイワ・ コア・ボンド・ストラテジー・ファンド(ノンヘッジ・クラス) (ケイマン籍、円建)	グッゲンハイム・パートナーズ・インベストメント・ マネージメント・エルエルシー	米ドル建ての債券等
アイルランド籍の外国投資法人「ロード・アベット・グ ローバル・ファンズ・・ピーエルシー」のサブファンド である「ロード・アベット・ハイイールド・ファンド」の 「クラスI-円建て累積投資クラス」	ロード・アベット・アンド・カンパニー エルエルシー	米国の ハイ・イールド債券等
ルクセンブルグ籍の外国投資法人「リーガル・アンド ジェネラル・SICAV」が発行する「L&Gグローバル 総合債券ファンド(除く日本)」のクラスC投資証券 (円建)	リーガル・アンド・ジェネラル・インベストメント・ マネージメント・リミテッド	世界の投資適格債券

●FW J-REITセレクト

投資信託証券	運用会社	主要投資対象
ダイワ・J-REITファンド(FOFs用) (適格機関投資家専用)	大和アセットマネジメント株式会社	わが国のリート
ダイワ・クオンツアクティブJ-REIT・ファンド(FOFs用) (適格機関投資家専用)	大和アセットマネジメント株式会社	
フィデリティ・リート・ファンド2 (適格機関投資家専用)	フィデリティ投信株式会社	

●FW外国REITセレクト

投資信託証券	運用会社	主要投資対象
ダイワ・グローバルREITファンド(FOFs用) (適格機関投資家専用)	大和アセットマネジメント株式会社	海外のリート
外国REIT厳選投資戦略ファンド(FOFs用) (適格機関投資家専用)	大和アセットマネジメント株式会社	世界のリート (日本を除く)

●FWコモディティセレクト

投資信託証券	運用会社	主要投資対象
ゴールド・ファンド(FOFs用)(適格機関投資家専用)	大和アセットマネジメント株式会社	米国国債、金先物取引、 金のETF等
Daiwa“RICI”Fund(ダイワ“RICI”ファンド) (ケイマン籍、米ドル建)	ダイワ・アセット・マネージメント(シンガポール)リミテッド	米ドル建ての公社債 等およびコモディティ (商品先物取引等)
L&G ロンガー・デティッド・オール・コモディティズ UCITS ETF(アイルランド籍、米ドル建)	LGIM マネージャーズ(ヨーロッパ)リミテッド	コモディティ先物等

追加的記載事項

●FWヘッジFセレクト

投資信託証券	運用会社	主要投資対象
大和住銀FoF用ジャパン・マーケット・ニュートラル (適格機関投資家限定)	三井住友DSアセットマネジメント株式会社	わが国の株式および 株価指数先物取引等
M&Aアービトラージ戦略ファンド(FOFs用) (適格機関投資家専用)	東京海上アセットマネジメント株式会社	世界の株式
短期金利トレンドフォロー戦略ファンド(FOFs用) (適格機関投資家専用)	大和アセットマネジメント株式会社	金利先物関連の 連動債券
スパークス・ファンド・匠(FOFs用) (適格機関投資家専用)	スパークス・アセット・マネジメント株式会社	わが国の株式等
ルクセンブルグ籍の外国証券投資法人「ブラック ロック・ストラテジック・ファンズ」が発行する「ブラッ クロックUKエクイティ・アブソリュート・リターン・ファン ド」の円ヘッジクラスI投資証券(円建)	ブラックロック・インベストメント・マネジメント(UK) リミテッド	英国の株式もしくは 株式関連の派生商品等
ルクセンブルグ籍の外国証券投資法人「JPモルガ ン・インベストメント・ファンズ」が発行する「グローバ ル・マクロ・オポチュニティーズ・ファンド-JPMグ ローバル・マクロ・オポチュニティーズ(Iクラス)(円 ヘッジ)」の投資証券(円建)	JPモルガン・アセット・マネジメント(UK)リミテッド	世界各国の株式、 債券等、デリバティブ 取引
ルクセンブルグ籍の外国証券投資法人「モルガン・ スタンレー・インベストメント・ファンズ」が発行する 「モルガン・スタンレー・インベストメント・ファンズ・ グローバル・マクロ・ファンド」のZH(JPY)クラス投 資証券(円建)	モルガン・スタンレー・インベストメント・ マネジメント・リミテッド	新興国、フロンティア諸国を 含むグローバル市場の通貨、 ソブリン・クレジット、金利、 株式
ルクセンブルグ籍の外国証券投資法人「ピクテTR」 が発行する「アトラス HJ JPY(円ヘッジ)」の投資証券 (円建)	ピクテ・アセット・マネジメント・エス・エイ、ピクテ・ アセット・マネジメント・リミテッド	世界各国の株式、 派生商品等
ルクセンブルグ籍の外国証券投資法人「ブラック ロック・ストラテジック・ファンズ」が発行する「ブラッ クロック・システムティック・US・エクイティ・アブソ ルート・リターン・ファンド」のクラスI2円ヘッジ投資 証券(円建)	ブラックロック・インスティテューショナル・トラスト・ カンパニー、エヌ. エイ.	米国、カナダ、 ラテンアメリカ諸国の 株式および株式関連 の派生商品等
ケイマン籍の外国投資法人「オコーナー・グローバル・ マージャー・アービトラージ・ジャパン・リミテッド」が発 行する「オコーナー・グローバル・マージャー・アービト ラージ・ジャパン・リミテッド」のJPYクラス投資証券(円 建)※	オコーナー・オルタナティブ・インベストメンツ・ エルエルシー	世界各国の株式、 デリバティブ取引など
アイルランド籍の外国証券投資法人「ノムラ・ファン ズ・アイルランド」が発行する「グローバル・ダイナ ミック・ボンド・ファンド」のI JPYヘッジドクラス投資 証券(円建)	ノムラ・アセット・マネジメント U.K. リミテッド	世界の債券および 債券関連証券等
ルクセンブルグ籍の外国証券投資法人「JPモルガ ン・ファンズ」が発行する「ヨーロッパ・エクイティ・ア ブソリュート・アルファ・ファンド」のIクラス(円ヘッ ジ)投資証券(円建)	JPモルガン・アセット・マネジメント(UK)リミテッド	欧州の株式等
ケイマン籍の外国投資法人「キャンベル・アブソルー ト・リターン・ジャパン・ファンド」が発行する日本円 ヘッジシェアクラス投資証券(円建)	キャンベル&カンパニー・インベストメント・ アドバイザー・エルエルシー	先物、フォワード、 スワップ、株式等

※2026年4月10日に、ケイマン籍の外国投資法人「ナインティーンセブンティセブン・グローバル・マージャー・アービトラージ・ジャパン・リミテッド」が発行する「ナインティーンセブンティセブン・グローバル・マージャー・アービトラージ・ジャパン・リミテッド」のJPYクラス投資証券(円建)から変更されました。

[注記]

ケイマン諸島投資信託「ダイワ「RICI」ファンド」(以下、当注記において、総称して「ファンド」といいます。)はJames Beeland Rogers, Jim RogersまたはBeeland Interests, Inc. (以下、当注記において、総称して「Beeland」といいます。)により提供、保証、販売または販売促進されるものではありません。Beelandはファンド購入者、すべての潜在的ファンド購入者、政府当局、または公衆に対して、一般的な証券投資、特にファンドへの投資の助言能力を、明示的にも暗示的にも、表明または保証するものではありません。BeelandはRogers International Commodity Indexの決定、構成、算出において大和アセットマネジメント株式会社およびその関連会社、またはファンド購入者の要求を考慮する義務を負いません。Beelandはファンドが発行される時期、価格もしくは数量の決定またはファンドが換金されるもしくは他の金融商品、証券に転換される際に使用される算式の決定または計算の責任を負わず関与もしていません。Beelandはファンドの管理、運営、販売、取引に関して義務または責任を負いません。「Jim Rogers」、「Rogers International Commodity Index」および「RICI」は、James Beeland Rogers, Jim RogersまたはBeeland Interests, Inc. のトレードマークおよびサービスマークであり、使用許諾を要します。

基準価額の変動要因

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。
したがって、**投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。**
信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。
- 投資信託は預貯金とは異なります。**

各ファンドにおける、主な変動要因の状況

	株価			公社債の価格			リート の 価格	商品 先物 取引	デリバ ティブ 取引	外国 為替 予約 取引	オルタ ナティブ 戦略・資産	為替変動		カントリー・ リスク		その他
	新興国	空売り		新興国	転換 社債							新興国	為替 ヘッジ	新興国		
FW日本株式セレクト	●															●
FW外国株式セレクト	●	●										●	●		●	●
FW外国株式EM+	●	●										●	●		●	●
FW日本債券セレクト				●										●		●
FW外国債券セレクト				●								●			●	●
FW外国債券EM+				●	●							●	●		●	●
FW J-REITセレクト							●									●
FW外国REITセレクト							●					●			●	●
FWコモディティセレクト	●	●		●				●	●	●		●	●		●	●
FWヘッジファンドセレクト	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●

〈主な変動要因〉

株 価 (価格変動リスク・ 信用リスク)		株価は、政治・経済情勢、発行企業の業績、市場の需給等を反映して変動します。発行企業が経営不安、倒産等に陥った場合には、投資資金が回収できなくなることもあります。組入銘柄の株価が下落した場合には、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。
	新 興 国	新興国の証券市場は、先進国の証券市場に比べ、一般に市場規模や取引量が小さく、流動性が低いことにより本来想定される投資価値とは乖離した価格水準で取引される場合もあるなど、価格の変動性が大きくなる傾向が考えられます。
	空 売 り	株式を売建てしている場合、当該銘柄の株価が上昇した場合には、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。

投資リスク

公 社 債 の 価 格 (価 格 変 動 リ ス ク ・ 信 用 リ ス ク)		公社債の価格は、一般に金利が低下した場合には上昇し、金利が上昇した場合には下落します。また、公社債の価格は、発行体の信用状況によっても変動します。特に発行体が債務不履行を発生させた場合、またはその可能性が予想される場合には、公社債の価格は下落します。組入公社債の価格が下落した場合には、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。ハイ・イールド債については、格付けの高い公社債に比べてこうしたリスクがより高いものになると想定されます。
	新 興 国	新興国の公社債は、先進国の公社債と比較して価格変動が大きく、債務不履行が生じるリスクがより高いものになると考えられます。
	転 換 社 債	転換社債の価格は、転換対象とする株式等の価格変動や金利変動等の影響を受けて変動します。 転換社債の市場は、上場株式等の市場と比較して一般に市場規模や取引量が小さく、流動性が低いことにより本来想定される投資価値とは乖離した価格水準で取引される場合もあるなど、価格変動が大きくなる場合があると考えられます。 転換社債の価格は、発行企業の信用状況によっても変動します。特に、発行企業が債務不履行を発生させた場合、またはその可能性が予想される場合には、転換社債の価格は下落します。 格付けの低い、および格付けの無い転換社債は、格付けが高い転換社債と比較して、一般に債務不履行が生じるリスクが高いと考えられます。
リ ー ト の 価 格 (価 格 変 動 リ ス ク ・ 信 用 リ ス ク)		リートの価格は、不動産市況の変動、リートの収益や財務内容の変動、リートに関する法制度の変更等の影響を受けます。組入リートの市場価格が下落した場合、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。
商 品 先 物 取 引 の 利 用 に 伴 う リ ス ク		商品先物の取引価格は、さまざまな要因(商品の需給関係の変化、天候、農業生産、貿易動向、為替レート、金利の変動、政治的・経済的事由および政策、疾病、伝染病、技術発展等)に基づき変動(個々の品目により具体的な変動要因は異なります。)するため、基準価額は、短期的または長期的に大きく下落し、投資元本を下回ることがあります。 その他、基準価額に影響を与える要因として、次のものが考えられます。 - 商品市場は、市場の流動性の不足、投機家の参入および政府の規制・介入等のさまざまな要因により、一時的に偏向するかその他の混乱を生じることがあります。 - 値段の低い期近の先物を値段の高い期先の先物に買換える場合、マイナスの影響を及ぼす可能性があります。
デ リ バ テ ィ ブ 取 引 の 利 用 に 伴 う リ ス ク		デリバティブ取引を利用して純資産規模を上回る買建て、売建てを行なう場合、価格変動リスクが現物有価証券に投資する場合と比べて大きくなる可能性があります。 また、デリバティブ取引の相手方の債務不履行により損失が発生することがあり、この場合基準価額が下落する要因となります。 先物の価格は、対象証券または指数の値動き、先物市場の需給等を反映して変動します。先物を買建てている場合の先物価格の下落、または先物を売建てている場合の先物価格の上昇により損失が発生し、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。 有価証券指数等先渡取引を取引対象とする場合、取引相手方の信用状況が著しく悪化する信用リスク、合理的な条件で取引を行なう相手方が見出せなくなることによる流動性リスク等があります。

外国為替予約取引の
利用に伴うリスク

外国為替予約とは、将来あらかじめ定めた条件（時期、金額、為替レート等）で通貨の売買を行なう契約のことをいいます。買建てた通貨が売建てた通貨に対して下落した場合には損失が発生し、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。

オルタナティブ
戦略・資産にかかる
リスク・留意点

オルタナティブ戦略・資産での運用においては、実質的な投資対象市場の価格が上昇した場合でも、収益が得られない場合や損失が発生する場合があります。レバレッジを利用する場合には、実質的な投資対象市場における値動き以上の損失をもたらす場合があります。また、市場環境によっては、オルタナティブ戦略・資産での運用が効果的に機能しない可能性があり、基準価額が予想外に下落する場合があります。

オルタナティブ戦略・資産の例として、以下のものを挙げます。

イ. マーケット・ニュートラル戦略（現物株式のポートフォリオが有する株式市場全体の動きに依存して変動する要素（マーケット・リスク）を株価指数先物取引の売建てを利用して可能な限りヘッジすることをめざす戦略）に基づく運用を行なう場合

- 株価指数先物取引の売建てを利用しますので、組入れている現物株式の株価が上昇しても、基準価額が下落する場合があります。
- 株式と株価指数先物の価格変動の差異その他の事情により、マーケット・リスクを完全にヘッジできないことがあります。
- 現物株式のポートフォリオのパフォーマンスが市場全体のパフォーマンスに劣後する場合、基準価額が下落する可能性があります。
- 現物株式取引、株価指数先物取引から発生する売買委託手数料等は、基準価額が下落する要因となります。

ロ. 株式などのロング・ショート戦略（割安と判断される銘柄を買建て（ロング・ポジション）、割高と判断される銘柄を売建て（ショート・ポジション）するという2つのポジションを組み合わせる投資戦略）に基づく運用または裁定取引を行なう場合

- ロング・ショート戦略では、投資対象市場の動向による影響を受けにくい運用をめざしますが、その影響を全て排除できるわけではありません。
- 投資対象市場やロング（買建て）・ショート（売建て）戦略により保有する株式などの値動きの見通しが予測と異なった場合は、基準価額の下落要因になります。
- ただし、レバレッジを活用して取引を行なう場合には、投資対象の市場における値動きに比べて大きな損失が生じる可能性があります。

※ 上記は代表的な戦略の例であり、当ファンドが採用する戦略はこれらに限定されません。

投資リスク

為替変動リスク		外貨建資産については、資産自体の価格変動のほか、当該外貨の円に対する為替レートの変動の影響を受けます。組入外貨建資産について、当該外貨の為替レートが円高方向に進んだ場合には、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。
	新興国	新興国の為替レートは短期間に大幅に変動することがあり、先進国と比較して、相対的に高い為替変動リスクがあります。
	為替ヘッジ	投資する指定投資信託証券において為替ヘッジを行なう場合、為替変動リスクの低減を図ります。ただし、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。なお、日本円の金利が組入外貨建資産の通貨の金利より低いときには、金利差相当分がコストとなり、需給要因等によっては、さらにコストが拡大することもあります。
カントリー・リスク		投資対象国・地域において、政治・経済情勢の変化等により市場に混乱が生じた場合、または取引に対して新たな規制が設けられた場合には、基準価額が予想外に下落したり、方針に沿った運用が困難となることがあります。
	新興国	新興国への投資には、先進国と比べて大きなカントリー・リスクが伴います。
その他		解約資金を手当てするため組入証券を売却する際、市場規模や市場動向によっては市場実勢を押下げ、当初期待される価格で売却できないこともあります。この場合、基準価額が下落する要因となります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※指定投資信託証券の変更に伴い内容が追加される場合があります。

その他の留意点

- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。
- 当ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要性が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。
これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金の申込みの受け付けが中止となる可能性、換金代金のお支払いが遅延する可能性があります。

リスクの管理体制

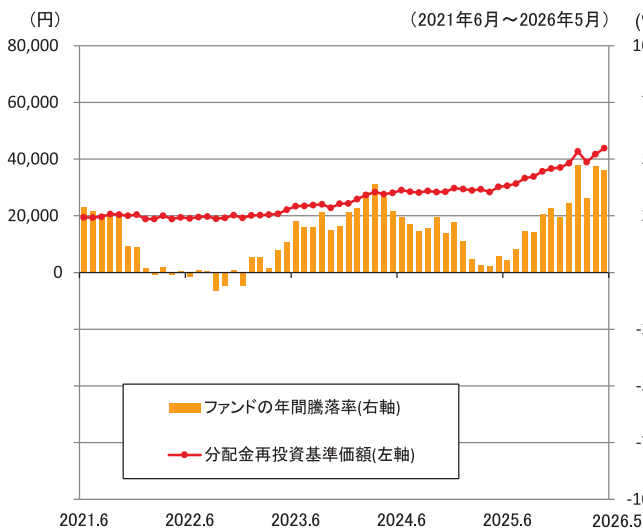
- 委託会社では、取締役会が決定した運用リスク管理に関する基本方針に基づき、運用本部から独立した部署および会議体が直接的または間接的に運用本部へのモニタリング・監視を通じ、運用リスクの管理を行います。
- 委託会社では、流動性リスク管理に関する規程を定め、ファンドの組入資産の流動性リスクのモニタリングなどを実施するとともに、緊急時対応策の策定・検証などを行います。
- 取締役会等は、流動性リスク管理の適切な実施の確保や流動性リスク管理態勢について、監督します。

参考情報

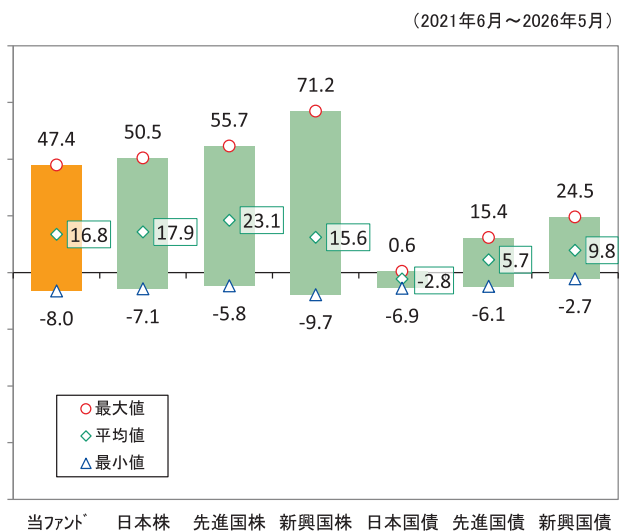
- 下記のグラフは、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。右のグラフは過去5年間ににおける年間騰落率(各月末における直近1年間の騰落率)の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示しています。また左のグラフはファンドの過去5年間ににおける年間騰落率の推移を表示しています。

ファンドの年間騰落率と分配金再投資基準価額の推移

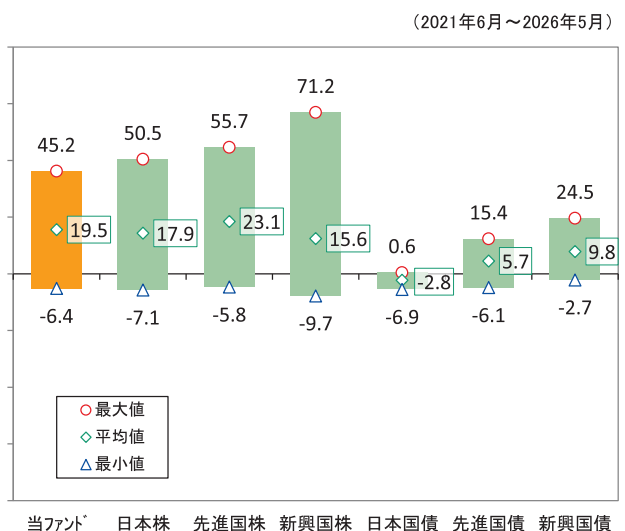
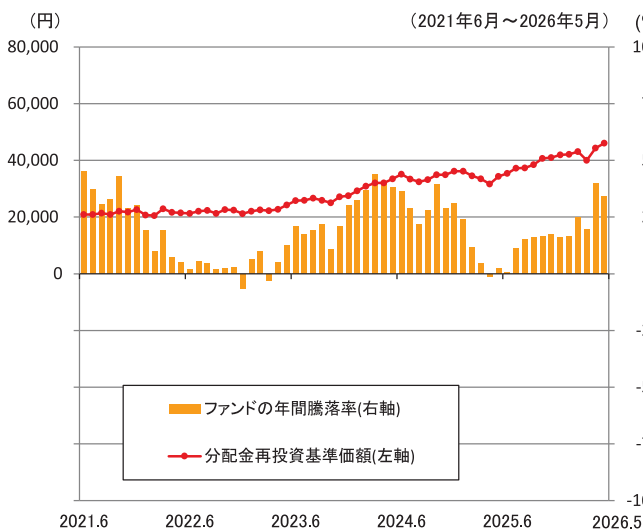
[ダイワファンドラップ 日本株式セレクト]



他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較

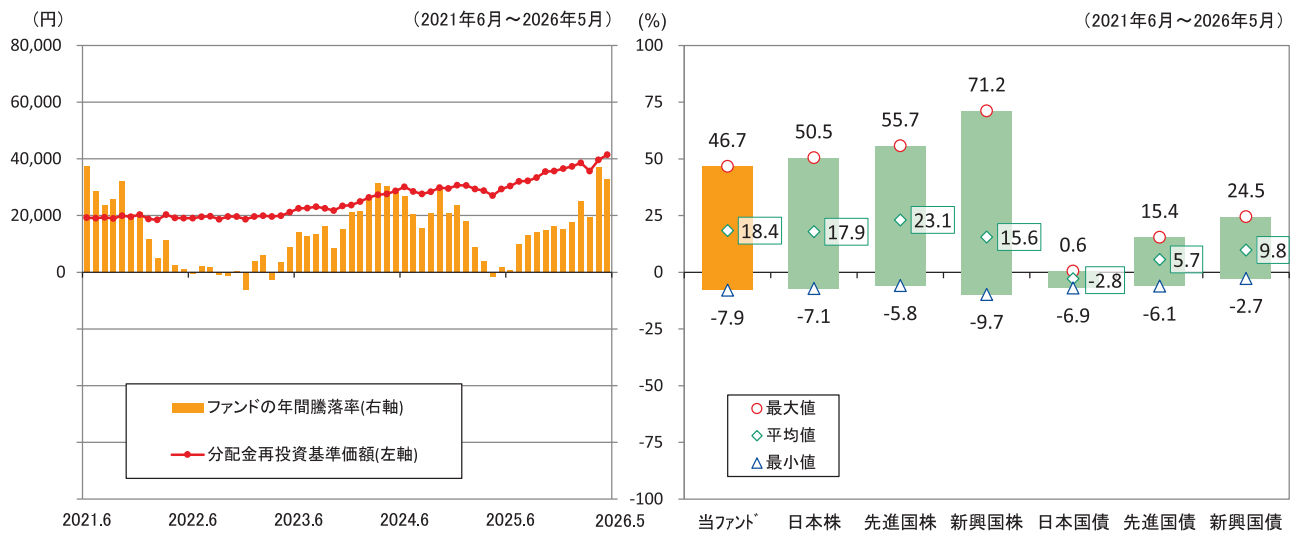


[ダイワファンドラップ 外国株式セレクト]

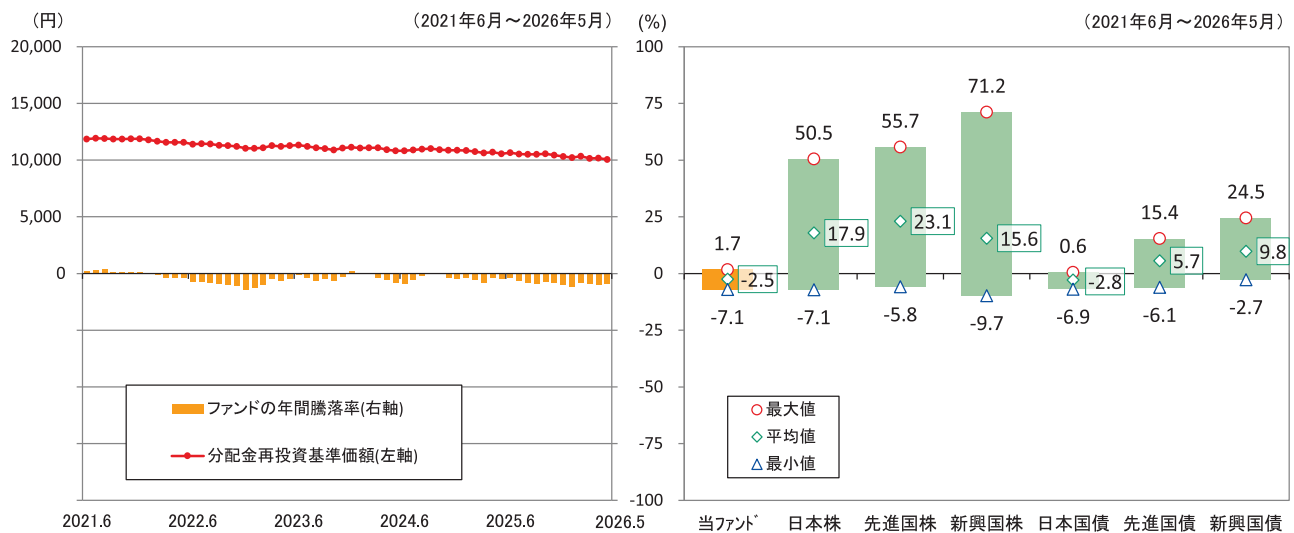


投資リスク

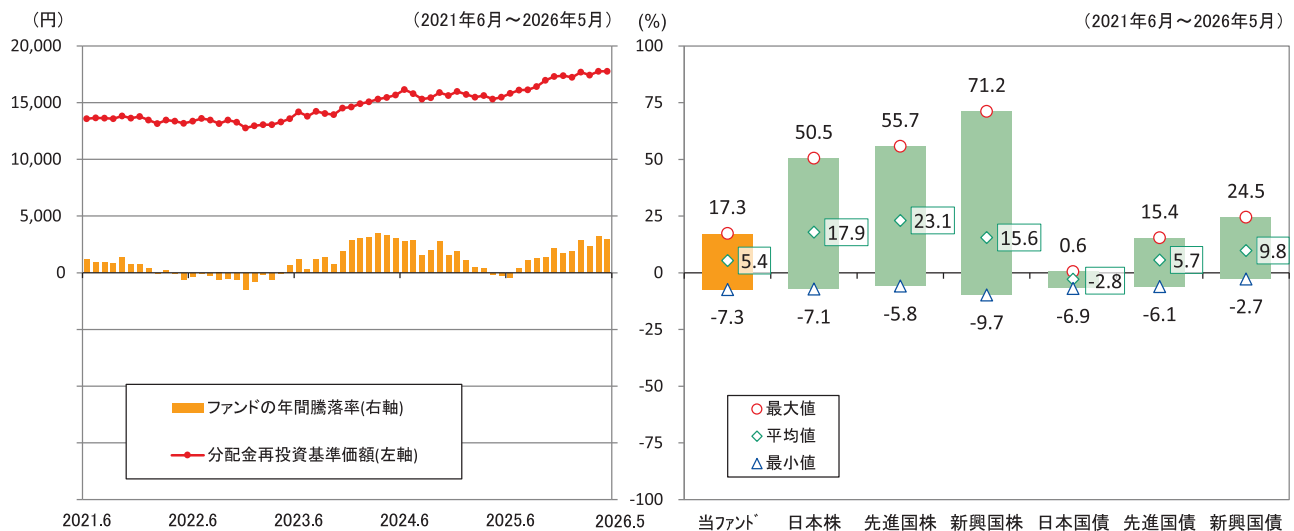
[ダイワファンドラップ 外国株式セレクト エマージングプラス]



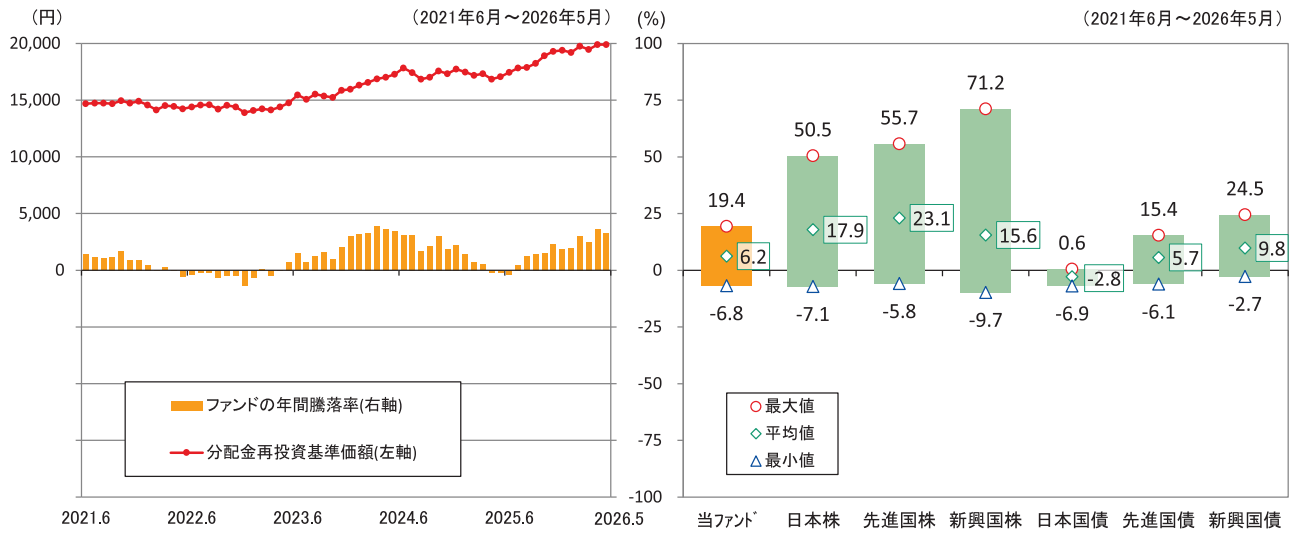
[ダイワファンドラップ 日本債券セレクト]



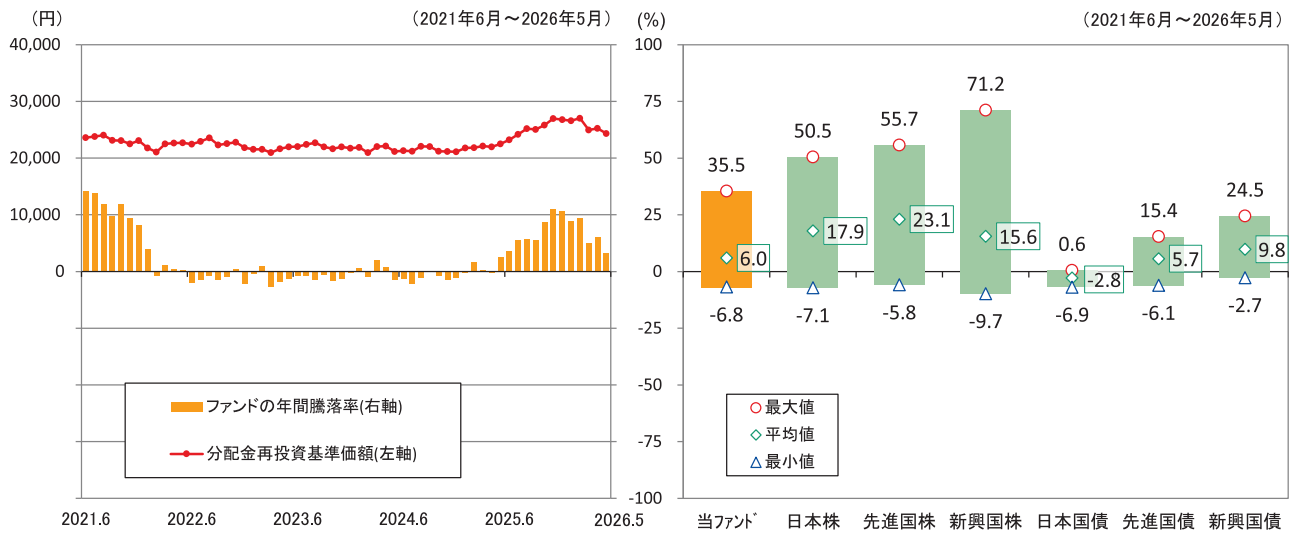
[ダイワファンドラップ 外国債券セレクト]



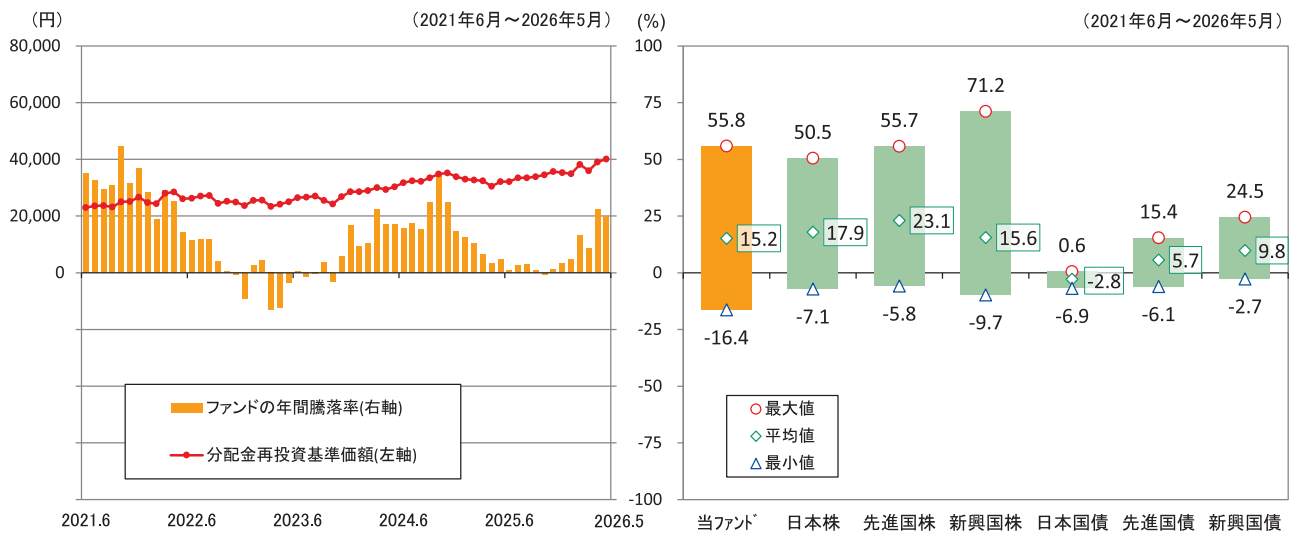
[ダイワファンドラップ 外国債券セレクト エマージングプラス]



[ダイワファンドラップ J-REITセレクト]

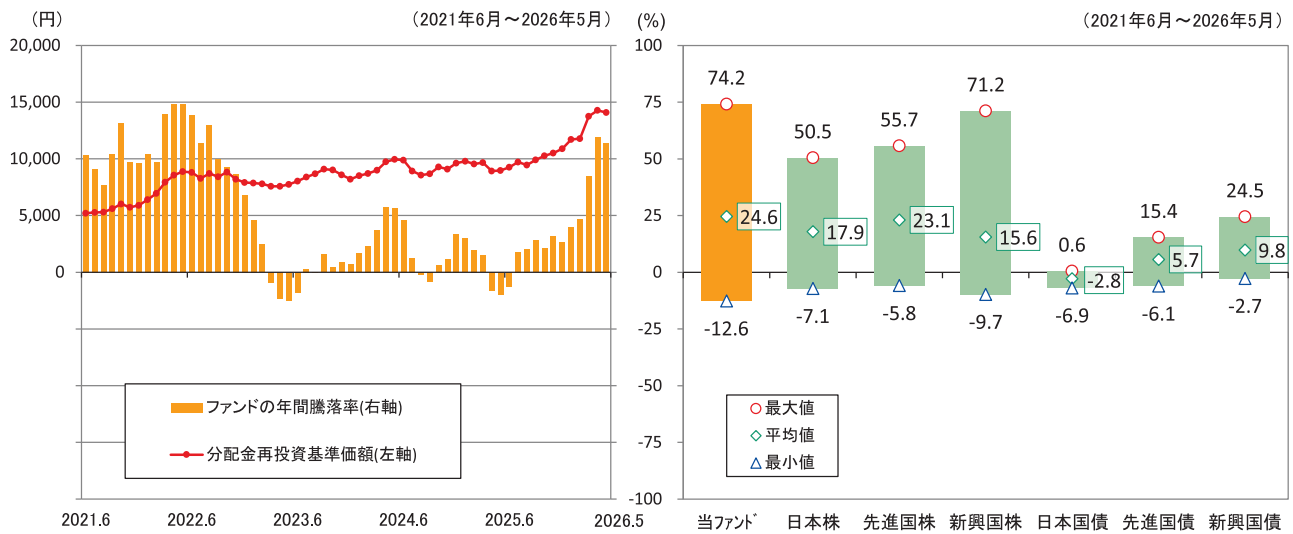


[ダイワファンドラップ 外国REITセレクト]

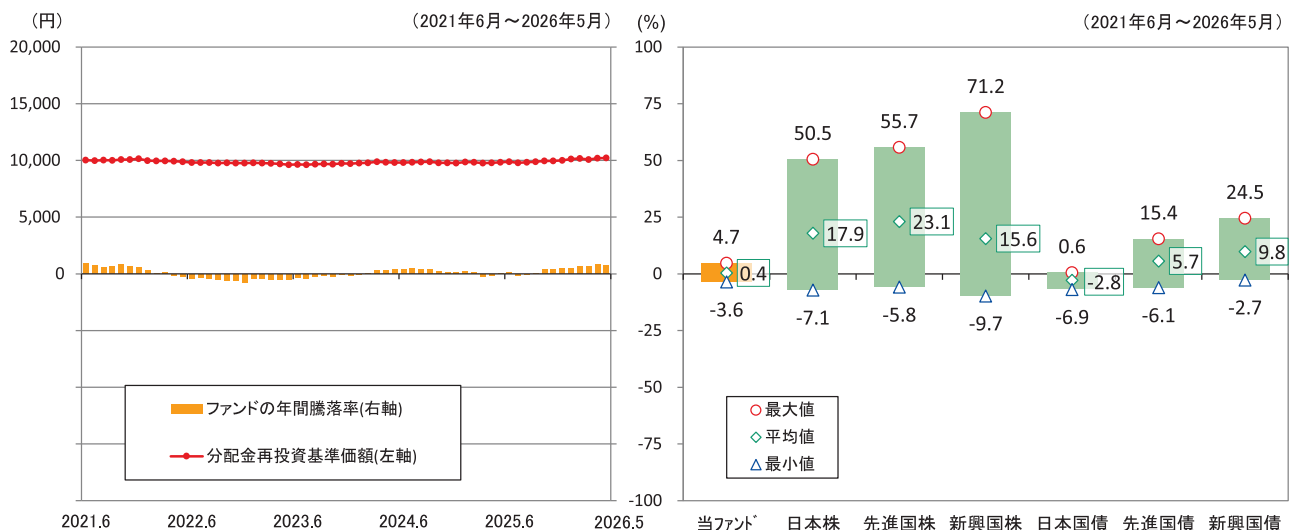


投資リスク

[ダイワファンドラップ コモディティセレクト]



[ダイワファンドラップ ヘッジファンドセレクト]



※各資産クラスは、ファンドの投資対象を表しているものではありません。

※ファンドの年間騰落率は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

※ファンドの年間騰落率において、過去5年間分のデータが算出できない場合は以下のルールで表示しています。

①年間騰落率に該当するデータがない場合には表示されません。

②年間騰落率が算出できない期間がある場合には、算出可能な期間についてのみ表示しています。

③インデックスファンドにおいて、①②に該当する場合には、当該期間についてベンチマークの年間騰落率で代替して表示します。

※資産クラスについて

日本株：配当込みTOPIX

先進国株：MSCIコクサイ・インデックス(配当込み、円ベース)

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA-BPI国債

先進国国債：FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)

新興国国債：JPモルガン ガバメント・ボンド・インデックス エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイド(円ベース)

※指数について

●配当込みTOPIXの指数値および同指数にかかる標準または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社(以下「JPX」といいます。)の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標準または商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、同指数の指数値の算出または公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。●MSCIコクサイ・インデックスおよびMSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc. (「MSCI」)が開発した指数です。本ファンドは、MSCIによって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、MSCIは本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任も負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。
[<https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html>] ●NOMURA-BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組み入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。NOMURA-BPI国債の知的財産権とその他一切の権利は同社に帰属しています。また、同社は当該指数の正確性、完全性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。●FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。●JPモルガン ガバメント・ボンド・インデックス エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイドは、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。

Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

●ダイワファンドラップ 日本株式セレクト

2026年5月29日現在

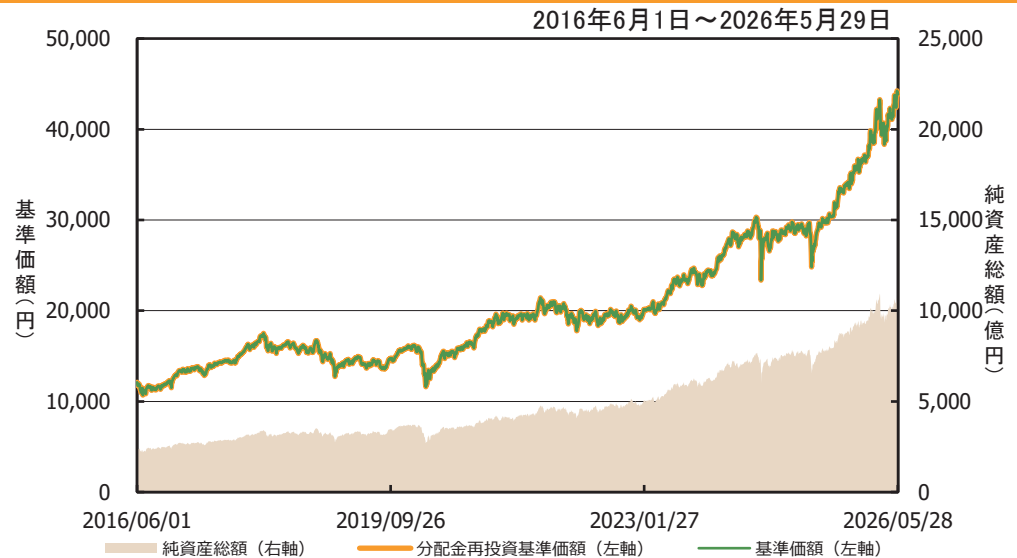
※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

基準価額・純資産の推移

基準価額	43,886円
純資産総額	10,710億円

基準価額の騰落率

期間	ファンド
1カ月間	5.0%
3カ月間	2.7%
6カ月間	19.8%
1年間	45.4%
3年間	98.4%
5年間	126.3%
設定来	338.9%



※上記の「基準価額の騰落率」とは、「分配金再投資基準価額」の騰落率です。

※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。基準価額の計算において実質的な運用管理費用(信託報酬)は控除しています。

分配の推移 (10,000口当たり、税引前)

直近1年間分配金合計額: 0円

設定来分配金合計額: 0円

決算期	第7期 14年6月	第8期 15年6月	第9期 16年6月	第10期 17年6月	第11期 18年6月	第12期 19年6月	第13期 20年6月	第14期 21年6月	第15期 22年6月	第16期 23年6月	第17期 24年6月	第18期 25年6月
分配金	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円

※分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

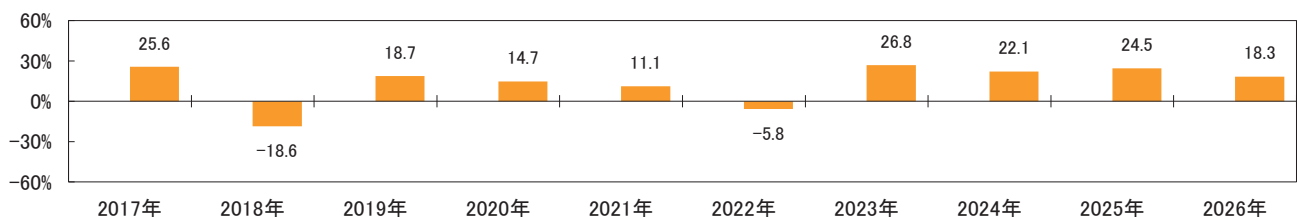
主要な資産の状況

※比率は、純資産総額に対するものです。

組入上位10ファンド	比率
ダイワ・スマート日本株ファンダメンタル・ファンド	10.7%
グローバルX グローバルリーダーズ-日本株式 ETF	9.7%
日本株 EVI ハイアルファ	9.2%
SMDAMジャパン・ファンダメンタル・アクティブ・ファンド	9.0%
ニッセイJPX日経400アクティブファンド	8.8%
ダイワ成長株オープン	8.4%
DIAM国内株式アクティブ市場型ファンド	8.3%
損保ジャパン日本興亜ラージキャップ・バリュー・ファンド	6.8%
リサーチ・アクティブ・オープンF	6.1%
日本長期成長株集中投資ファンド	6.0%
合計	82.8%

年間収益率の推移

当ファンドにはベンチマークはありません。



・ファンドの「年間収益率」は、「分配金再投資基準価額」の騰落率です。

・2026年は5月29日までの騰落率を表しています。

委託会社のホームページ等で運用状況が開示されている場合があります。

運用実績

●ダイワファンドラップ 外国株式セレクト

2026年5月29日現在

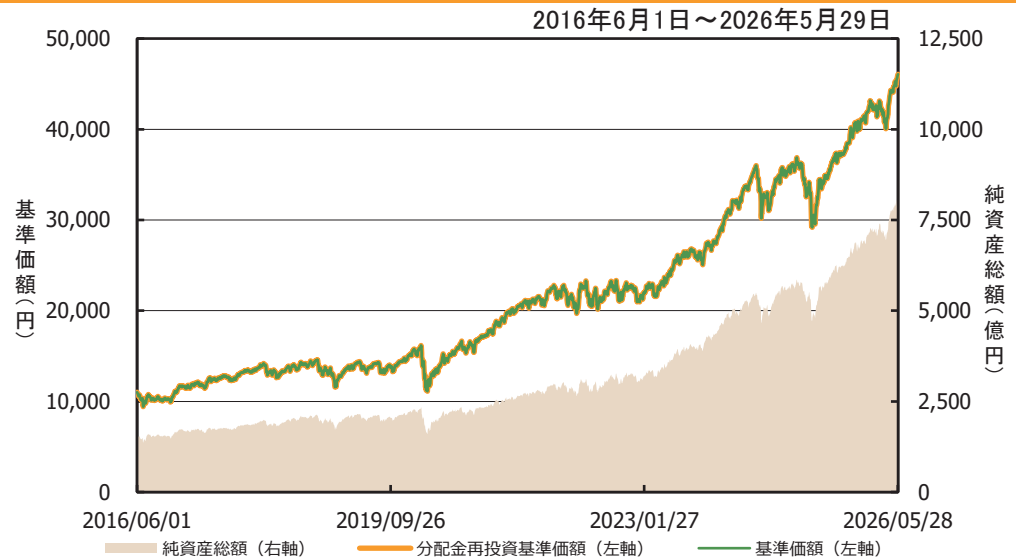
※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

基準価額・純資産の推移

基準価額	46,063円
純資産総額	8,156億円

基準価額の騰落率

期間	ファンド
1カ月間	3.9%
3カ月間	6.8%
6カ月間	12.4%
1年間	34.1%
3年間	89.9%
5年間	125.0%
設定来	360.6%



※上記の「基準価額の騰落率」とは、「分配金再投資基準価額」の騰落率です。

※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。基準価額の計算において実質的な運用管理費用(信託報酬)は控除しています。

分配の推移(10,000口当たり、税引前)

直近1年間分配金合計額: 0円

設定来分配金合計額: 0円

決算期	第7期 14年6月	第8期 15年6月	第9期 16年6月	第10期 17年6月	第11期 18年6月	第12期 19年6月	第13期 20年6月	第14期 21年6月	第15期 22年6月	第16期 23年6月	第17期 24年6月	第18期 25年6月
分配金	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円

※分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

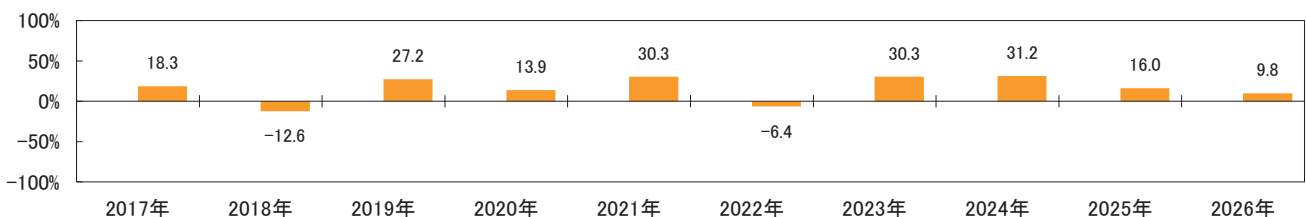
主要な資産の状況

※比率は、純資産総額に対するものです。

組入上位10ファンド	比率
ダイワ／ニューメリック 外国株式戦略	13.7%
フランクリン・グローバル株式ファンド	13.7%
アムンディ・米国大型株コア戦略ファンド	10.7%
キャピタル・グループ・グローバル・ニューパースペクティブ・ファンド(LUX)クラスP(円建)	9.8%
グローバルX S&P500 キャッシュフロー・トップ100 ETF	9.4%
グローバル・フォーカス・グロース・エクイティ・ファンド クラスI(円建)	8.4%
グローバル厳選株式ファンド	6.6%
ダイワ／GQGグローバル・エクイティ	5.7%
ニッセイ／サンダース・グローバルバリュー株式ファンド	5.1%
ジェニソン外国株式戦略ファンド	4.1%
合計	87.3%

年間収益率の推移

当ファンドにはベンチマークはありません。



・ファンドの「年間収益率」は、「分配金再投資基準価額」の騰落率です。

・2026年は5月29日までの騰落率を表しています。

委託会社のホームページ等で運用状況が開示されている場合があります。

●ダイワファンドラップ 外国株式セレクト エマージングプラス

2026年5月29日現在

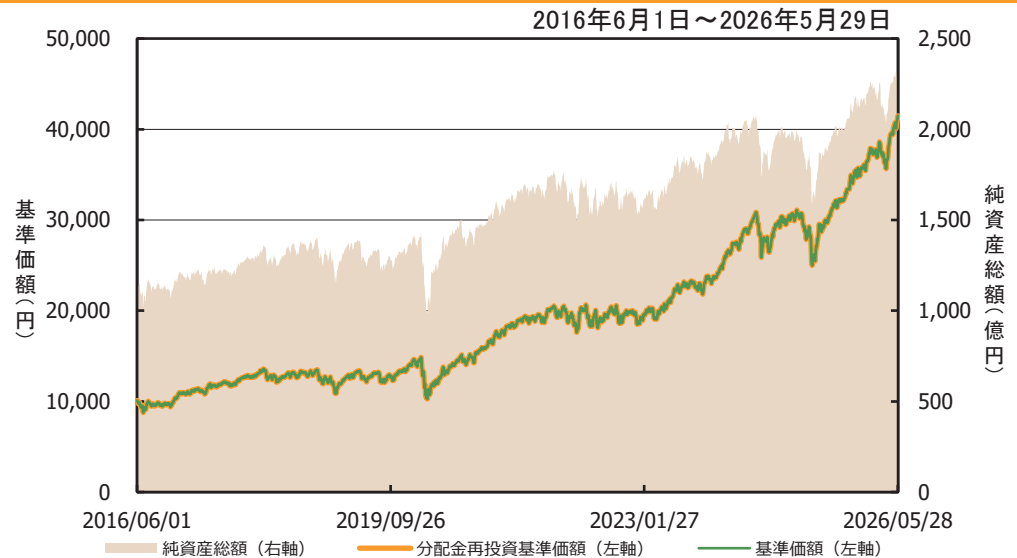
※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

基準価額・純資産の推移

基準価額	41,488円
純資産総額	2,351億円

基準価額の騰落率

期間	ファンド
1カ月間	4.6%
3カ月間	7.4%
6カ月間	16.3%
1年間	41.1%
3年間	95.4%
5年間	119.9%
設定来	314.9%



※上記の「基準価額の騰落率」とは、「分配金再投資基準価額」の騰落率です。

※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。※基準価額の計算において実質的な運用管理費用(信託報酬)は控除しています。

分配の推移(10,000口当たり、税引前)

直近1年間分配金合計額: 0円 設定来分配金合計額: 0円												
決算期	第 7 期 14年6月	第 8 期 15年6月	第 9 期 16年6月	第 10 期 17年6月	第 11 期 18年6月	第 12 期 19年6月	第 13 期 20年6月	第 14 期 21年6月	第 15 期 22年6月	第 16 期 23年6月	第 17 期 24年6月	第 18 期 25年6月
分配金	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円

※分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

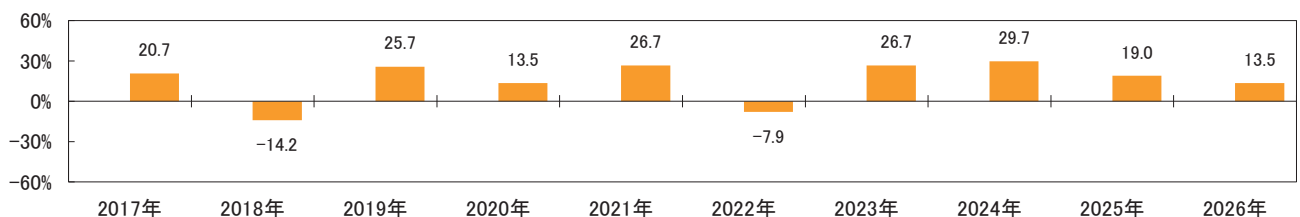
主要な資産の状況

※比率は、純資産総額に対するものです。

組入上位10ファンド	比率
フランクリン・グローバル株式ファンド	11.2%
ダイワ／ニューメリック 外国株式戦略	11.2%
マン・システマティック・エマージング・マーケット・エクイティ クラスI	10.9%
アムンディ・米国大型株コア戦略ファンド	8.7%
キャピタル・グループ・グローバル・ニューパースペクティブ・ファンド(LUX)クラスP(円建)	7.8%
グローバルX S&P500 キャッシュフロー・トップ100 ETF	7.8%
グローバル・フォーカス・グロース・エクイティ・ファンド クラスI(円建)	6.6%
インベスコ エマージング・マーケット・エクイティ・ファンドクラスC-Acc(円建)	6.2%
グローバル厳選株式ファンド	5.2%
ダイワ／GQGグローバル・エクイティ	4.4%
合計	79.9%

年間収益率の推移

当ファンドにはベンチマークはありません。



・ファンドの「年間収益率」は、「分配金再投資基準価額」の騰落率です。

・2026年は5月29日までの騰落率を表しています。

委託会社のホームページ等で運用状況が開示されている場合があります。

運用実績

●ダイワファンドラップ 日本債券セレクト

2026年5月29日現在

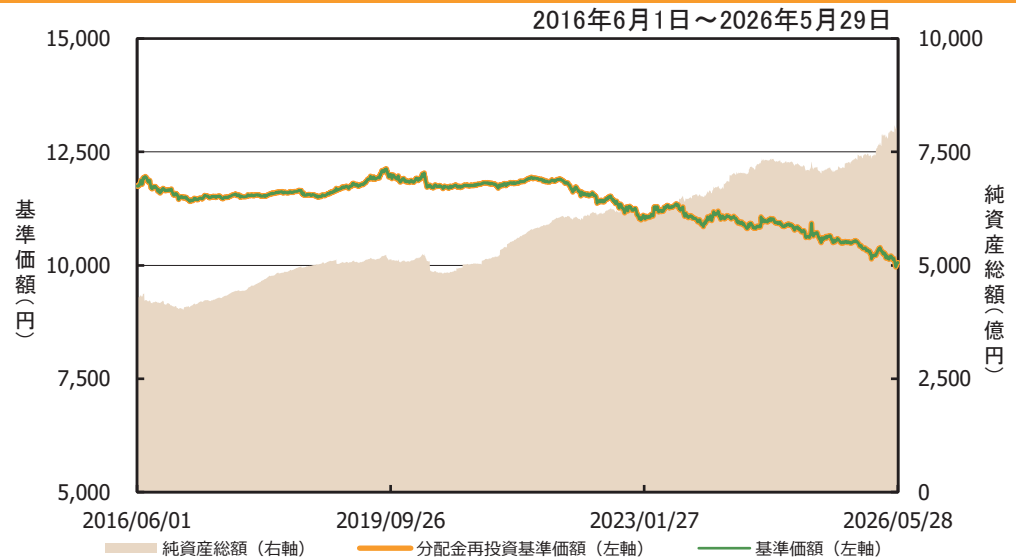
※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

基準価額・純資産の推移

基準価額	10,058円
純資産総額	8,097億円

基準価額の騰落率

期間	ファンド
1カ月間	-1.1%
3カ月間	-2.7%
6カ月間	-3.7%
1年間	-4.7%
3年間	-10.8%
5年間	-14.9%
設定来	0.6%



※上記の「基準価額の騰落率」とは、「分配金再投資基準価額」の騰落率です。

※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。基準価額の計算において実質的な運用管理費用(信託報酬)は控除しています。

分配の推移 (10,000口当たり、税引前)

直近1年間分配金合計額: 0円

設定来分配金合計額: 0円

決算期	第7期 14年6月	第8期 15年6月	第9期 16年6月	第10期 17年6月	第11期 18年6月	第12期 19年6月	第13期 20年6月	第14期 21年6月	第15期 22年6月	第16期 23年6月	第17期 24年6月	第18期 25年6月
分配金	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円

※分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

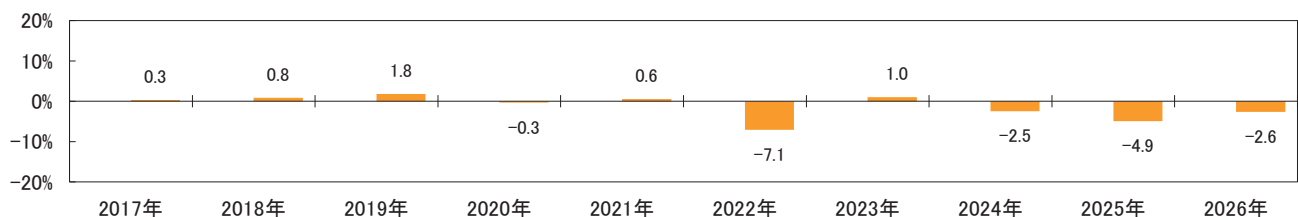
主要な資産の状況

※比率は、純資産総額に対するものです。

組入上位10ファンド	比率
明治安田日本債券アクティブ・ファンド	17.8%
マニユライフ日本債券アクティブ・ファンドM	17.7%
ネオ・ジャパン債券ファンド	16.7%
大和住銀日本債券アクティブファンド	13.8%
One金利・クレジット型戦略ファンドD	12.9%
りそな日本債券ファンド・コア・アクティブ	8.9%
ピムコ日本債券コア・ファンドIV	8.9%
ネオ・ヘッジ付債券ファンド	1.1%
フィデリティ外国債券アクティブ・ファンド(為替ヘッジあり)	1.1%
合計	98.7%

年間収益率の推移

当ファンドにはベンチマークはありません。



・ファンドの「年間収益率」は、「分配金再投資基準価額」の騰落率です。

・2026年は5月29日までの騰落率を表しています。

委託会社のホームページ等で運用状況が開示されている場合があります。

●ダイワファンドラップ 外国債券セレクト

2026年5月29日現在

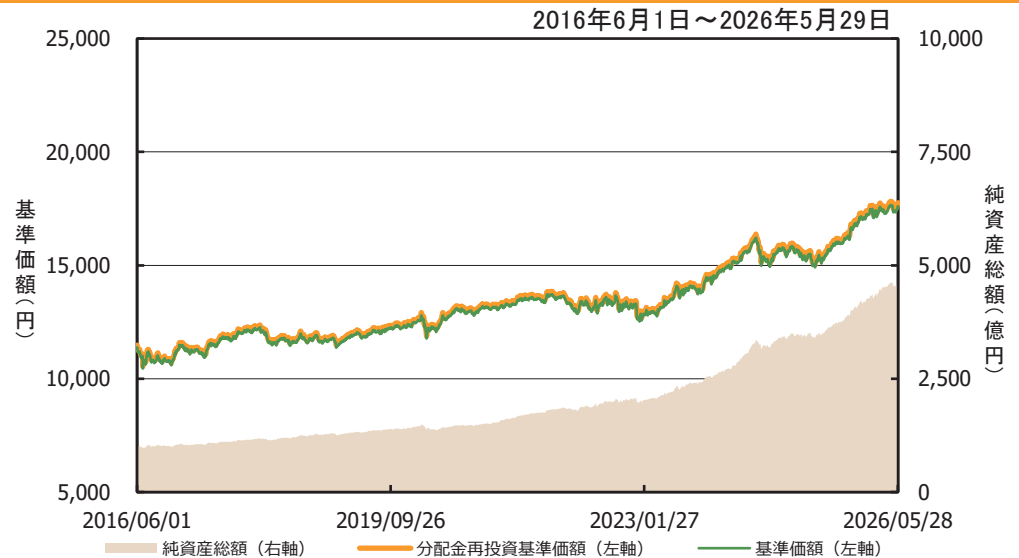
※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

基準価額・純資産の推移

基準価額	17,603円
純資産総額	4,630億円

基準価額の騰落率

期間	ファンド
1カ月間	-0.1%
3カ月間	0.4%
6カ月間	2.6%
1年間	14.8%
3年間	30.8%
5年間	30.7%
設定来	77.6%



※上記の「基準価額の騰落率」とは、「分配金再投資基準価額」の騰落率です。

※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。基準価額の計算において実質的な運用管理費用(信託報酬)は控除しています。

分配の推移(10,000口当たり、税引前)

直近1年間分配金合計額： 0円 設定来分配金合計額： 100円												
決算期	第 7 期 14年6月	第 8 期 15年6月	第 9 期 16年6月	第 10 期 17年6月	第 11 期 18年6月	第 12 期 19年6月	第 13 期 20年6月	第 14 期 21年6月	第 15 期 22年6月	第 16 期 23年6月	第 17 期 24年6月	第 18 期 25年6月
分配金	100円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円

※分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

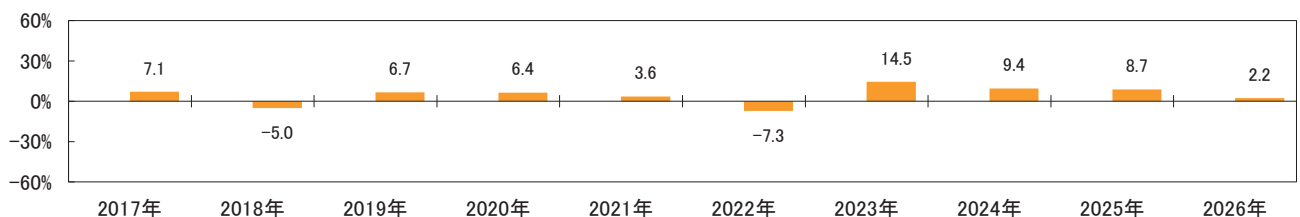
主要な資産の状況

※比率は、純資産総額に対するものです。

組入上位10ファンド	比率
ウェリントン・グローバル総合債券(除く日本)ファンド クラスS Q5受益証券(円ヘッジ無、分配金有)	18.7%
L&Gグローバル総合債券ファンド(除く日本)	18.6%
グローバル・コア債券ファンド	17.7%
フィデリティ外国債券アクティブ・ファンド(為替ヘッジなし)	11.8%
ダイワ・コア・ボンド・ストラテジー・ファンド(ノンヘッジ・クラス)	7.8%
ブルーベイ欧州総合債券ファンド	5.9%
ブランディワイン外国債券ファンド	4.9%
ダイワノデカ欧州債券アクティブ・ファンド	4.9%
ダイワ中長期世界債券ファンド	2.9%
ロード・アベット・ハイイールド・ファンド クラスI-円建て累積投資クラス	2.0%
合計	95.3%

年間収益率の推移

当ファンドにはベンチマークはありません。



・ファンドの「年間収益率」は、「分配金再投資基準価額」の騰落率です。

・2026年は5月29日までの騰落率を表しています。

委託会社のホームページ等で運用状況が開示されている場合があります。

運用実績

●ダイワファンドラップ 外国債券セレクト エマージングプラス

2026年5月29日現在

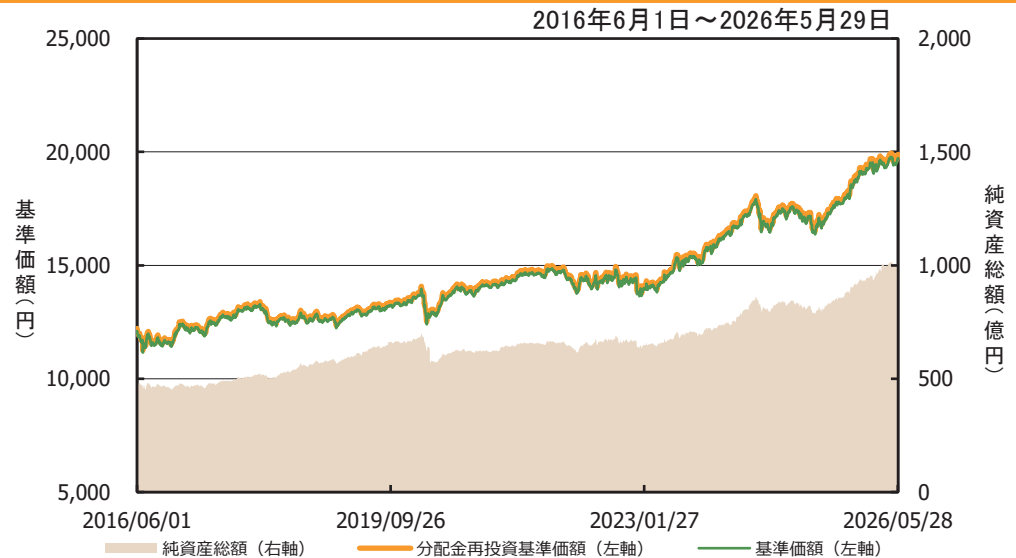
※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

基準価額・純資産の推移

基準価額	19,727円
純資産総額	1,007億円

基準価額の騰落率

期間	ファンド
1カ月間	0.0%
3カ月間	0.7%
6カ月間	3.0%
1年間	16.5%
3年間	34.8%
5年間	35.6%
設定来	99.0%



※上記の「基準価額の騰落率」とは、「分配金再投資基準価額」の騰落率です。

※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。基準価額の計算において実質的な運用管理費用(信託報酬)は控除しています。

分配の推移 (10,000口当たり、税引前)

直近1年間分配金合計額: 0円

設定来分配金合計額: 100円

決算期	第7期 14年6月	第8期 15年6月	第9期 16年6月	第10期 17年6月	第11期 18年6月	第12期 19年6月	第13期 20年6月	第14期 21年6月	第15期 22年6月	第16期 23年6月	第17期 24年6月	第18期 25年6月
分配金	100円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円

※分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

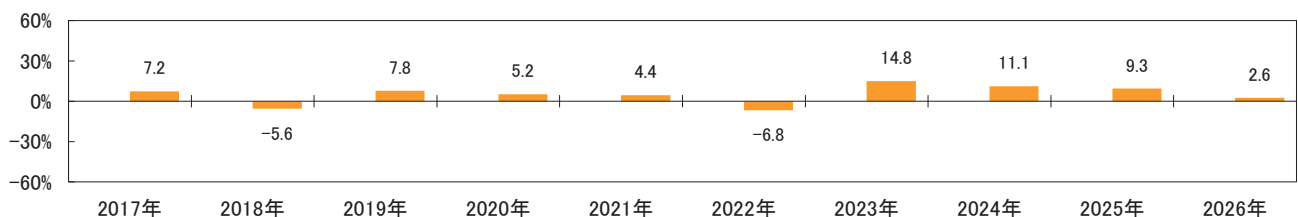
主要な資産の状況

※比率は、純資産総額に対するものです。

組入上位10ファンド	比率
ウェリントン・グローバル総合債券(除く日本)ファンド クラス Q5 受益証券(円ヘッジ無、分配金有)	15.2%
L&Gグローバル総合債券ファンド(除く日本)	15.0%
グローバル・コア債券ファンド	14.3%
エマージング・マーケット債券ファンド	10.0%
T. ロウ・プライス新興国債券オープンM	9.8%
フィデリティ外国債券アクティブ・ファンド(為替ヘッジなし)	9.4%
ダイワ・コア・ボンド・ストラテジー・ファンド(ノンヘッジ・クラス)	6.3%
ブルーベイ欧州総合債券ファンド	4.8%
ダイワノデカ欧州債券アクティブ・ファンド	4.0%
ブランディワイン外国債券ファンド	3.9%
合計	92.7%

年間収益率の推移

当ファンドにはベンチマークはありません。



・ファンドの「年間収益率」は、「分配金再投資基準価額」の騰落率です。

・2026年は5月29日までの騰落率を表しています。

委託会社のホームページ等で運用状況が開示されている場合があります。

●ダイワファンドラップ J-REITセレクト

2026年5月29日現在

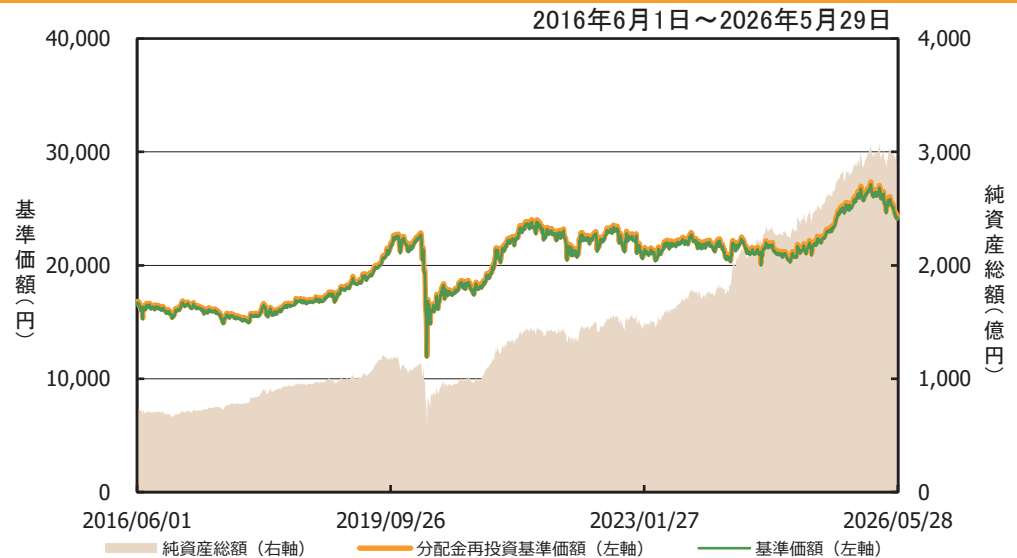
※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

基準価額・純資産の推移

基準価額	24,143円
純資産総額	2,936億円

基準価額の騰落率

期間	ファンド
1カ月間	-3.7%
3カ月間	-10.0%
6カ月間	-9.8%
1年間	8.1%
3年間	10.6%
5年間	7.7%
設定来	143.3%



※上記の「基準価額の騰落率」とは、「分配金再投資基準価額」の騰落率です。

※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。※基準価額の計算において実質的な運用管理費用(信託報酬)は控除しています。

分配の推移(10,000口当たり、税引前)

直近1年間分配金合計額： 0円 設定来分配金合計額： 100円												
決算期	第7期 14年6月	第8期 15年6月	第9期 16年6月	第10期 17年6月	第11期 18年6月	第12期 19年6月	第13期 20年6月	第14期 21年6月	第15期 22年6月	第16期 23年6月	第17期 24年6月	第18期 25年6月
分配金	100円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円

※分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

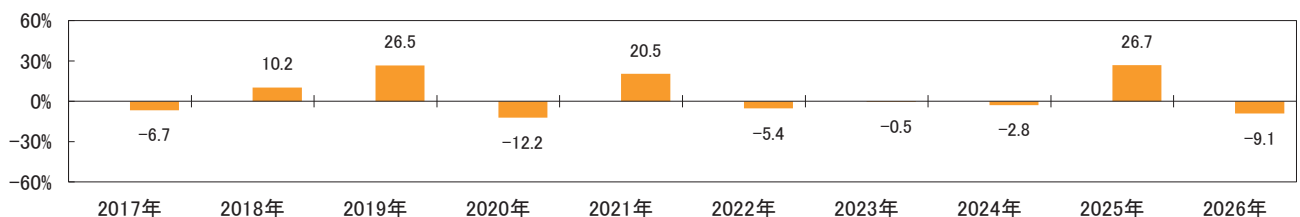
主要な資産の状況

※比率は、純資産総額に対するものです。

組入上位10ファンド	比率
ダイワ・J-REITファンド	58.8%
フィデリティ・Jリート・ファンド2	24.7%
ダイワ・クオンツアクティブJ-REIT・ファンド	14.8%
合計	98.3%

年間収益率の推移

当ファンドにはベンチマークはありません。



・ファンドの「年間収益率」は、「分配金再投資基準価額」の騰落率です。

・2026年は5月29日までの騰落率を表しています。

委託会社のホームページ等で運用状況が開示されている場合があります。

運用実績

●ダイワファンドラップ 外国REITセレクト

2026年5月29日現在

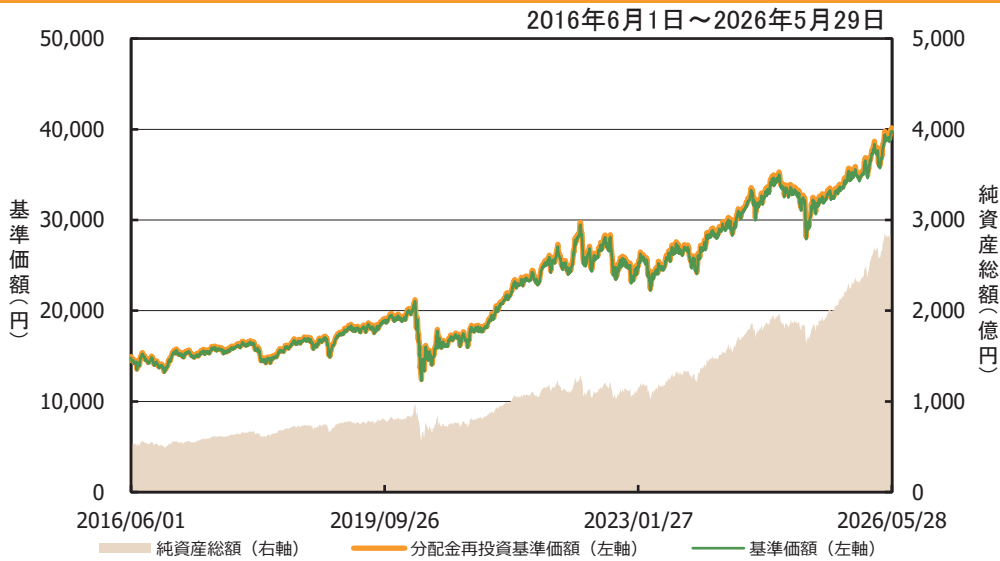
※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

基準価額・純資産の推移

基準価額	39,778円
純資産総額	2,860億円

基準価額の騰落率

期間	ファンド
1カ月間	2.6%
3カ月間	5.1%
6カ月間	12.5%
1年間	25.0%
3年間	60.4%
5年間	81.1%
設定来	301.3%



※上記の「基準価額の騰落率」とは、「分配金再投資基準価額」の騰落率です。

※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。※基準価額の計算において実質的な運用管理費用(信託報酬)は控除しています。

分配の推移 (10,000口当たり、税引前)

直近1年間分配金合計額: 0円

設定来分配金合計額: 100円

決算期	第7期 14年6月	第8期 15年6月	第9期 16年6月	第10期 17年6月	第11期 18年6月	第12期 19年6月	第13期 20年6月	第14期 21年6月	第15期 22年6月	第16期 23年6月	第17期 24年6月	第18期 25年6月
分配金	100円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円

※分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

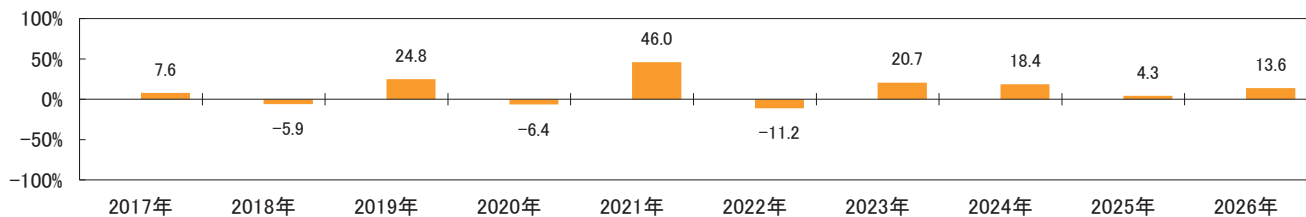
主要な資産の状況

※比率は、純資産総額に対するものです。

組入上位10ファンド	比率
ダイワ・グローバルREITファンド	77.3%
外国REIT厳選投資戦略ファンド	21.8%
合計	99.1%

年間収益率の推移

当ファンドにはベンチマークはありません。



・ファンドの「年間収益率」は、「分配金再投資基準価額」の騰落率です。

・2026年は5月29日までの騰落率を表しています。

委託会社のホームページ等で運用状況が開示されている場合があります。

●ダイワファンドラップ コモディティセレクト

2026年5月29日現在

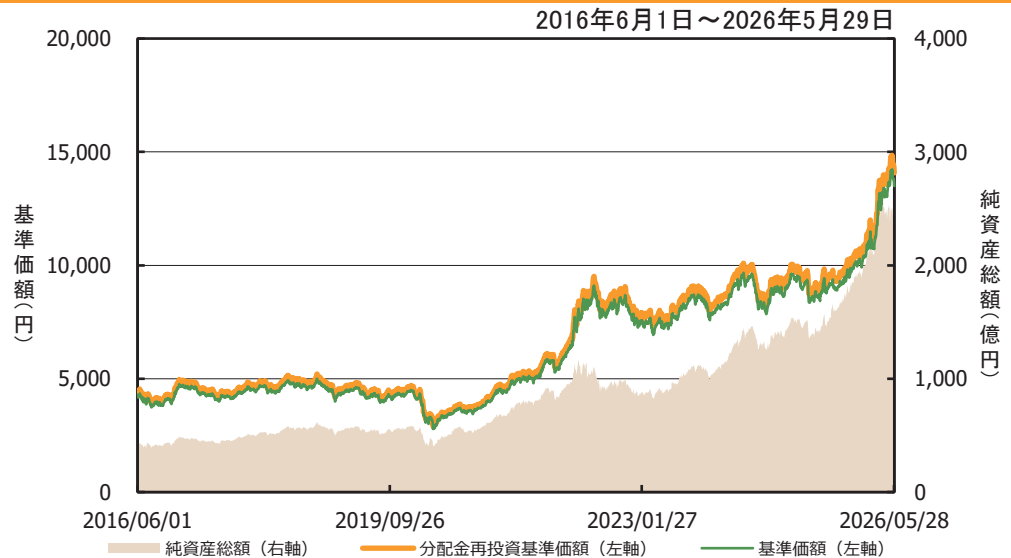
※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

基準価額・純資産の推移

基準価額	13,491円
純資産総額	2,374億円

基準価額の騰落率

期間	ファンド
1カ月間	-1.4%
3カ月間	19.5%
6カ月間	33.8%
1年間	56.8%
3年間	81.7%
5年間	176.5%
設定来	40.8%



※上記の「基準価額の騰落率」とは、「分配金再投資基準価額」の騰落率です。

※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。※基準価額の計算において実質的な運用管理費用(信託報酬)は控除しています。

分配の推移(10,000口当たり、税引前)

直近1年間分配金合計額： 0円 設定来分配金合計額： 500円												
決算期	第 7 期 14年6月	第 8 期 15年6月	第 9 期 16年6月	第 10 期 17年6月	第 11 期 18年6月	第 12 期 19年6月	第 13 期 20年6月	第 14 期 21年6月	第 15 期 22年6月	第 16 期 23年6月	第 17 期 24年6月	第 18 期 25年6月
分配金	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円

※分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

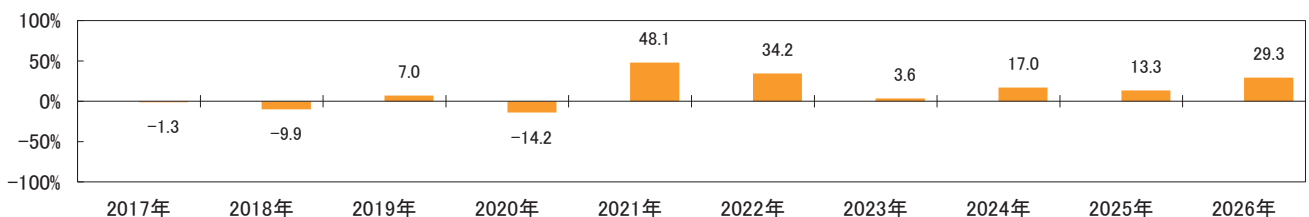
主要な資産の状況

※比率は、純資産総額に対するものです。

組入上位10ファンド	比率
ダイワ“RICI”ファンド	74.2%
L&G ロンガー・デイト・オール・コモディティズETF(米ドル建)	20.5%
ゴールド・ファンド	3.8%
合計	98.6%

年間収益率の推移

当ファンドにはベンチマークはありません。



・ファンドの「年間収益率」は、「分配金再投資基準価額」の騰落率です。
・2026年は5月29日までの騰落率を表しています。

委託会社のホームページ等で運用状況が開示されている場合があります。

運用実績

●ダイワファンドラップ ヘッジファンドセレクト

2026年5月29日現在

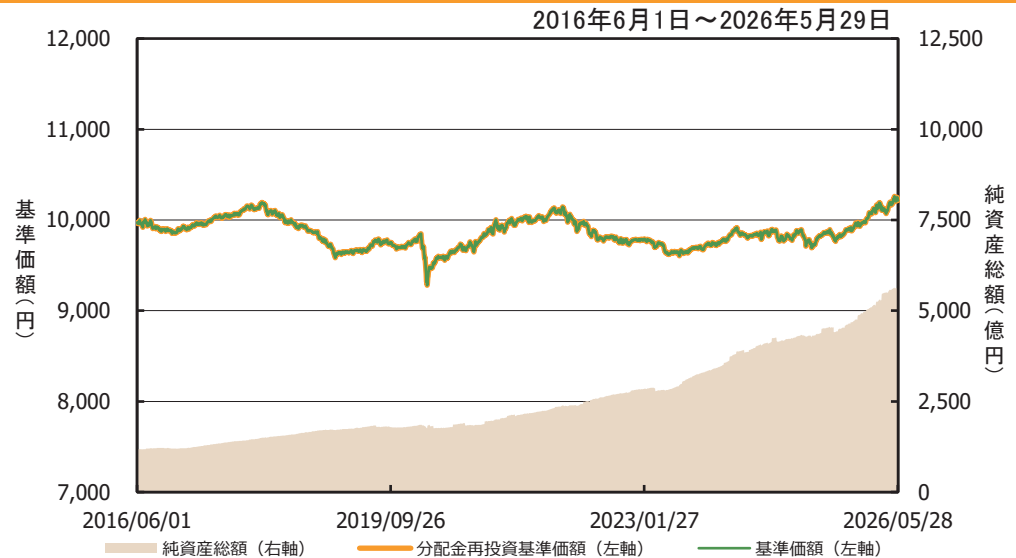
※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

基準価額・純資産の推移

基準価額	10,216円
純資産総額	5,755億円

基準価額の騰落率

期間	ファンド
1カ月間	0.3%
3カ月間	0.4%
6カ月間	2.6%
1年間	3.8%
3年間	6.1%
5年間	2.2%
設定来	2.2%



※上記の「基準価額の騰落率」とは、「分配金再投資基準価額」の騰落率です。

※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。基準価額の計算において実質的な運用管理費用(信託報酬)は控除しています。

分配の推移(10,000口当たり、税引前)

直近1年間分配金合計額: 0円

設定来分配金合計額: 0円

決算期	第7期 14年6月	第8期 15年6月	第9期 16年6月	第10期 17年6月	第11期 18年6月	第12期 19年6月	第13期 20年6月	第14期 21年6月	第15期 22年6月	第16期 23年6月	第17期 24年6月	第18期 25年6月
分配金	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円

※分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

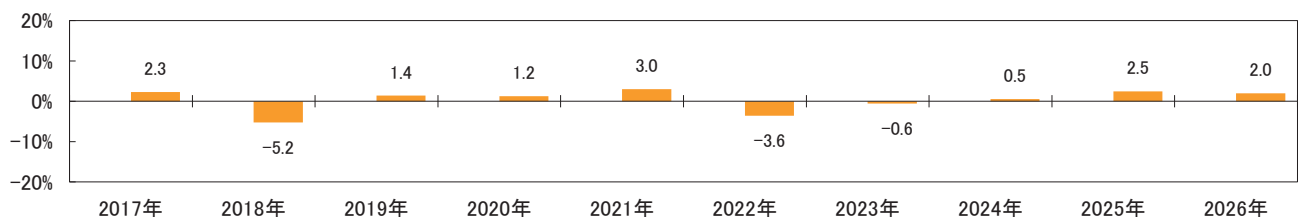
主要な資産の状況

※比率は、純資産総額に対するものです。

組入上位10ファンド	比率
アトラス HJ JPY (円ヘッジ)	15.7%
ブラックロック・システムティック・US・エクイティ・アブソリュート・リターン・ファンド クラスI2円ヘッジ	13.7%
大和住銀FoF用ジャパン・マーケット・ニュートラル	13.5%
JPMヨーロッパ・エクイティ・アブソリュート・アルファ・ファンド I (円ヘッジ)(円建)	12.5%
オコーナー・グローバル・マージャー・アービトラージ・ジャパン・リミテッド(JPY)	7.5%
ブラックロックUKエクイティ・アブソリュート・リターン・ファンド	6.8%
スパークス・ファンド・匠	6.3%
モルガン・スタンレー・インベストメント・ファンズ・グローバル・マクロ・ファンド ZH(JPY)クラス	5.9%
グローバル・ダイナミック・ボンド・ファンド I JPYヘッジドクラス(円建)	4.0%
キャンベル・アブソリュート・リターン・ジャパン・ファンド 日本円ヘッジ(円建)	3.8%
合計	89.7%

年間収益率の推移

当ファンドにはベンチマークはありません。



・ファンドの「年間収益率」は、「分配金再投資基準価額」の騰落率です。

・2026年は5月29日までの騰落率を表しています。

委託会社のホームページ等で運用状況が開示されている場合があります。

お申込みメモ

購入価額	購入単位	最低単位を1円単位または1口単位として販売会社が定める単位
	FW日本株式セレクト	購入申込受付日の翌営業日の基準価額(1万口当たり)
	FW J-REITセレクト	
	FW外国株式セレクト	購入申込受付日の翌々営業日の基準価額(1万口当たり)
	FW外国株式EM+	
	FW日本債券セレクト	
	FW外国債券セレクト	
	FW外国債券EM+	
	FW外国REITセレクト	
	FWコモディティセレクト	
FWヘッジFセレクト		
購入代金	販売会社が定める期日までにお支払い下さい。	
換金価額	換金単位	最低単位を1口単位として販売会社が定める単位
	FW日本株式セレクト	換金申込受付日の翌営業日の基準価額(1万口当たり)
	FW J-REITセレクト	
	FW外国株式セレクト	換金申込受付日の翌々営業日の基準価額(1万口当たり)
	FW外国株式EM+	
	FW日本債券セレクト	
	FW外国債券セレクト	
	FW外国債券EM+	
	FW外国REITセレクト	
	FWコモディティセレクト	
FWヘッジFセレクト		
換金代金	FW日本株式セレクト	原則として換金申込受付日から起算して5営業日目からお支払いします。
	FW J-REITセレクト	
	FW日本債券セレクト	原則として換金申込受付日から起算して6営業日目からお支払いします。
	FW外国株式セレクト	
	FW外国株式EM+	
	FW外国債券セレクト	
	FW外国債券EM+	
	FW外国REITセレクト	
	FWヘッジFセレクト	
	FWコモディティセレクト	原則として換金申込受付日から起算して8営業日目からお支払いします。
申込受付中止日	FW日本債券セレクト	①ニューヨークの銀行またはロンドンの銀行の休業日 ②一部解約金の支払い等に支障を来すおそれがあるとして委託会社が定める日
	FW外国株式セレクト	ニューヨークの銀行またはロンドンの銀行の休業日
	FW外国株式EM+	
	FW外国債券セレクト	
	FW外国債券EM+	①ニューヨーク証券取引所またはオーストラリア証券取引所の休業日 ②一部解約金の支払い等に支障を来すおそれがあるとして委託会社が定める日
	FW外国REITセレクト	
	FWコモディティセレクト	①ニューヨークの銀行またはロンドンの銀行の休業日 ②毎年12月24日 ③一部解約金の支払い等に支障を来すおそれがあるとして委託会社が定める日
	FWヘッジFセレクト	一部解約金の支払い等に支障を来すおそれがあるとして委託会社が定める日
(注)申込受付中止日は、販売会社または委託会社にお問合わせ下さい。		
申込締切時間		原則として、午後3時30分まで(販売会社所定の事務手続きが完了したもの) なお、販売会社によっては異なる場合がありますので、くわしくは販売会社にお問合わせ下さい。
購入の申込期間		2026年9月9日から2027年3月8日まで (終了前に有価証券届出書を提出することにより更新されます。)
換金制限		信託財産の資金管理を円滑に行なうために大口の換金申込には制限があります。
購入・換金申込受付の中止および取消し		金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止(「FW日本株式セレクト」および「FW J-REITセレクト」を除きます。)その他やむを得ない事情があるときは、購入、換金の申込みの受け付けを中止することがあります。
信託期間		無期限(2007年11月1日当初設定)
繰上償還		次のいずれかの場合には、委託会社は、事前に受益者の意向を確認し、受託会社と合意のうえ、信託契約を解約し、信託を終了させること(繰上償還)ができます。 ・受益権の口数が30億口を下ることとなった場合 ・信託契約を解約することが受益者のため有利であると認めるとき ・やむを得ない事情が発生したとき
決算日		毎年6月15日(休業日の場合翌営業日)
収益分配		年1回、収益分配方針に基づいて収益の分配を行ないます。 (注)当ファンドには、「分配金再投資コース」と「分配金支払いコース」があります。なお、お取扱い可能なコースについては異なる場合がありますので、販売会社にお問合わせ下さい。

手続・手数料等

信託金の限度額	FW日本株式セレクト	2兆円
	FW外国株式セレクト	1兆5,000億円
	FW外国株式EM+	1兆円
	FW日本債券セレクト	2兆5,000億円
	FW外国債券セレクト	1兆円
	FW外国債券EM+	1兆円
	FW J-REITセレクト	4,000億円
	FW外国REITセレクト	6,000億円
	FWコモディティセレクト	5,000億円
	FWヘッジFセレクト	1兆円
公 告	電子公告の方法により行ない、ホームページ[https://www.daiwa-am.co.jp/]に掲載します。	
運 用 報 告 書	毎計算期末および償還時に作成し、交付運用報告書をあらかじめお申出いただいたご住所にお届けします。また、電子交付を選択された場合には、所定の方法により交付します。	
課 税 関 係	課税上は株式投資信託として取扱われます。「FW日本株式セレクト」のみ配当控除の適用があります。益金不算入制度の適用はありません。 公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合にNISA(少額投資非課税制度)の適用対象となります。 当ファンドは、NISAの対象ではありません。 ※2026年5月末現在のものであり、税法が改正された場合等には変更される場合があります。	

ファンドの費用・税金

〈ファンドの費用〉

投資者が直接的に負担する費用			
		料率等	費用の内容
購 入 時 手 数 料		販売会社が別に定める率 ※徴収している販売会社はありません。	—
信 託 財 産 留 保 額		ありません。	—
投資者が信託財産で間接的に負担する費用			
		料率等	費用の内容
FW日本株式セレクト			
運 用 管 理 費 用 (信 託 報 酬)		年率0.484% (税抜0.44%)	運用管理費用の総額は、日々の信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。運用管理費用は、毎日計上され日々の基準価額に反映されます。
配分 (税抜) (注1)	委 託 会 社	年率0.30%	ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価です。
	販 売 会 社	年率0.10%	運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価です。
	受 託 会 社	年率0.04%	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価です。
投 資 対 象 と す る 投 資 信 託 証 券 (目論見書作成時点)		投資対象ファンドにおける運用管理費用等です。 年率0.2541%(税抜0.231%)～年率0.825%(税抜0.75%)	
実 質 的 に 負 担 す る 運 用 管 理 費 用 の 概 算 値 (目論見書作成時点)		年率1.0214%(0.7381%～1.3090%)程度(税込)(実際の組入状況等により変動します。)	

		料率等	費用の内容									
FW外国株式セレクト												
運用管理費用 (信託報酬)		年率0.484% (税抜0.44%)	運用管理費用の総額は、日々の信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。運用管理費用は、毎日計上され日々の基準価額に反映されます。									
配分 (税抜) (注1)	委託会社	年率0.30%	ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価です。									
	販売会社	年率0.10%	運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価です。									
	受託会社	年率0.04%	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価です。									
投資対象とする 投資信託証券 (目論見書作成時点)		投資対象ファンドにおける運用管理費用等です。										
実質的に負担する 運用管理費用の概算値 (目論見書作成時点)		年率0.198%(税抜0.18%)～年率1.0131%(税抜0.921%) 年率1.1762%(0.6820%～1.4971%)程度(税込) (実際の組入状況等により変動します。)										
FW外国株式EM+												
運用管理費用 (信託報酬)		年率0.484% (税抜0.44%)	運用管理費用の総額は、日々の信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。運用管理費用は、毎日計上され日々の基準価額に反映されます。									
配分 (税抜) (注1)	委託会社	年率0.30%	ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価です。									
	販売会社	年率0.10%	運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価です。									
	受託会社	年率0.04%	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価です。									
投資対象とする 投資信託証券 (目論見書作成時点)		投資対象ファンドにおける運用管理費用等です。										
		年率0.198%(税抜0.18%)～年率1.25% ただし、実績報酬制をとる投資対象ファンドの運用成果によっては、これを上回ることがあります。										
実質的に負担する 運用管理費用の概算値 (目論見書作成時点)		年率1.2718%(0.6820%～1.7340%)程度(税込) (実際の組入状況等により変動します。)										
FW日本債券セレクト												
運用管理費用 (信託報酬)		年率0.484% (税抜0.44%)以内	運用管理費用の総額は、日々の信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。運用管理費用は、毎日計上され日々の基準価額に反映されます。									
		運用管理費用(年率)は、下表〈A〉時点の新発10年固定利付国債利回りに応じて、下表〈B〉の期間において、純資産総額に対して以下の率とします。 新発10年固定利付国債利回りが イ. 2%未満の場合 …………… 年率0.242%(税抜0.22%) ロ. 2%以上の場合 …………… 年率0.484%(税抜0.44%)										
		<table><tr><td></td><td>〈A〉</td><td>〈B〉</td></tr><tr><td>①</td><td>前計算期末</td><td>毎計算期間の最初の6か月終了日(休業日の場合翌営業日)まで</td></tr><tr><td>②</td><td>毎計算期間の最初の6か月終了日(休業日の場合翌営業日)</td><td>毎計算期間の最初の6か月終了日(休業日の場合翌営業日)の翌日から毎計算期間末まで</td></tr></table>			〈A〉	〈B〉	①	前計算期末	毎計算期間の最初の6か月終了日(休業日の場合翌営業日)まで	②	毎計算期間の最初の6か月終了日(休業日の場合翌営業日)	毎計算期間の最初の6か月終了日(休業日の場合翌営業日)の翌日から毎計算期間末まで
			〈A〉	〈B〉								
①	前計算期末	毎計算期間の最初の6か月終了日(休業日の場合翌営業日)まで										
②	毎計算期間の最初の6か月終了日(休業日の場合翌営業日)	毎計算期間の最初の6か月終了日(休業日の場合翌営業日)の翌日から毎計算期間末まで										
委託会社	配分については、 下記参照	ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価です。										
販売会社		運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価です。										
受託会社		運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価です。										
		〈運用管理費用の配分〉 (税抜)(注1)	委託会社	販売会社	受託会社							
		前イ.の場合	年率0.15%	年率0.05%	年率0.02%							
		前ロ.の場合	年率0.30%	年率0.10%	年率0.04%							
投資対象とする 投資信託証券 (目論見書作成時点)		投資対象ファンドにおける運用管理費用等です。										
		年率0.1936%(税抜0.176%)～年率0.473%(税抜0.43%) ※投資対象ファンドにおける運用管理費用の上限を示しております。国債利回り水準等により変動する投資対象ファンドの運用管理費用は、これを下回ることがあります。										
実質的に負担する 運用管理費用の概算値 (目論見書作成時点)		新発10年固定利付国債利回りが										
		1%未満の場合 年率0.4649%(0.3806%～0.7150%)程度(税込)										
		1%以上2%未満の場合 年率0.5067%(0.4356%～0.7150%)程度(税込)										
		2%以上3%未満の場合 年率0.7624%(0.6776%～0.9570%)程度(税込)										
		3%以上4%未満の場合 年率0.7760%(0.6776%～0.9570%)程度(税込)										
		(実際の組入状況等により変動します。)										

手続・手数料等

		料率等	費用の内容
FW外国債券セレクト			
運用管理費用 (信託報酬)		年率0.484% (税抜0.44%)	運用管理費用の総額は、日々の信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。運用管理費用は、毎日計上され日々の基準価額に反映されます。
配分 (税抜) (注1)	委託会社	年率0.30%	ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価です。
	販売会社	年率0.10%	運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価です。
	受託会社	年率0.04%	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価です。
投資対象とする 投資信託証券 (目論見書作成時点)		投資対象ファンドにおける運用管理費用等です。 年率0.2981%(税抜0.271%)～年率0.60%+上限0.15%	
実質的に負担する 運用管理費用の概算値 (目論見書作成時点)		年率0.9651%(0.7821%～1.2340%)程度(税込) (実際の組入状況等により変動します。)	
FW外国債券EM+			
運用管理費用 (信託報酬)		年率0.484% (税抜0.44%)	運用管理費用の総額は、日々の信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。運用管理費用は、毎日計上され日々の基準価額に反映されます。
配分 (税抜) (注1)	委託会社	年率0.30%	ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価です。
	販売会社	年率0.10%	運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価です。
	受託会社	年率0.04%	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価です。
投資対象とする 投資信託証券 (目論見書作成時点)		投資対象ファンドにおける運用管理費用等です。 年率0.2981%(税抜0.271%)～年率0.60%+上限0.15%	
実質的に負担する 運用管理費用の概算値 (目論見書作成時点)		年率0.9938%(0.7821%～1.2340%)程度(税込) (実際の組入状況等により変動します。)	
FW J-REITセレクト			
運用管理費用 (信託報酬)		年率0.374% (税抜0.34%)	運用管理費用の総額は、日々の信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。運用管理費用は、毎日計上され日々の基準価額に反映されます。
配分 (税抜) (注1)	委託会社	年率0.245%	ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価です。
	販売会社	年率0.075%	運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価です。
	受託会社	年率0.02%	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価です。
投資対象とする 投資信託証券 (目論見書作成時点)		投資対象ファンドにおける運用管理費用等です。 年率0.33%(税抜0.30%)～年率0.517%(税抜0.47%)	
実質的に負担する 運用管理費用の概算値 (目論見書作成時点)		年率0.7508%(0.7040%～0.8910%)程度(税込) (実際の組入状況等により変動します。)	
FW外国REITセレクト			
運用管理費用 (信託報酬)		年率0.374% (税抜0.34%)	運用管理費用の総額は、日々の信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。運用管理費用は、毎日計上され日々の基準価額に反映されます。
配分 (税抜) (注1)	委託会社	年率0.245%	ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価です。
	販売会社	年率0.075%	運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価です。
	受託会社	年率0.02%	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価です。
投資対象とする 投資信託証券 (目論見書作成時点)		投資対象ファンドにおける運用管理費用等です。 年率0.605%(税抜0.55%)～年率0.7931%(税抜0.721%)	
実質的に負担する 運用管理費用の概算値 (目論見書作成時点)		年率1.0204%(0.9790%～1.1671%)程度(税込) (実際の組入状況等により変動します。)	

		料率等	費用の内容
FWコモディティセレクト			
運用管理費用 (信託報酬)		年率0.374% (税抜0.34%)	運用管理費用の総額は、日々の信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。運用管理費用は、毎日計上され日々の基準価額に反映されます。
配分 (税抜) (注1)	委託会社	年率0.245%	ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価です。
	販売会社	年率0.075%	運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価です。
	受託会社	年率0.02%	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価です。
投資対象とする 投資信託証券 (目論見書作成時点)		投資対象ファンドにおける運用管理費用等です。 年率0.242%(税抜0.22%)～年率1.00%	
実質的に負担する 運用管理費用の概算値 (目論見書作成時点)		年率1.2037%(0.6160%～1.3740%)程度(税込)(実際の組入状況等により変動します。)	
FWヘッジセレクト			
運用管理費用 (信託報酬)		年率0.484% (税抜0.44%)	運用管理費用の総額は、日々の信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。運用管理費用は、毎日計上され日々の基準価額に反映されます。
配分 (税抜) (注1)	委託会社	年率0.30%	ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価です。
	販売会社	年率0.10%	運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価です。
	受託会社	年率0.04%	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価です。
投資対象とする 投資信託証券 (目論見書作成時点)		投資対象ファンドにおける運用管理費用等です。 年率0.561%(税抜0.51%)～年率上限2.00% ただし、実績報酬制をとる投資対象ファンドの運用成果によっては、これを上回ることがあります。	
実質的に負担する 運用管理費用の概算値 (目論見書作成時点)		年率1.6678%(1.0450%～2.4840%)程度(税込)(実際の組入状況等により変動します。)	
その他の費用・手数料		(注2)	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。

(注1)「運用管理費用の配分」には、別途消費税率を乗じた額がかかります。

(注2)「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※運用管理費用の信託財産からの支払いは、毎計算期間の最初の6か月終了日(休業日の場合翌営業日)および毎計算期末または信託終了時に行なわれます。

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。また、上場不動産投資信託は市場価格により取引されており、費用を表示することができません。

〈税金〉・税金は表に記載の時期に適用されます。

・以下の表は、個人投資者の源泉徴収時の税率であり、課税方法等により異なる場合があります。

時 期	項 目	税 金	
分 配 時	所得税および地方税	配当所得として課税	普通分配金に対して20.315%
換金(解約)時および償還時	所得税および地方税	譲渡所得として課税	換金(解約)時および償還時の差益(譲渡益)に対して20.315%

※外国税額控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。

※上記は、2026年5月末現在のもので、税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。

※法人の場合は上記とは異なります。

※税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

手続・手数料等

(参考情報) ファンドの総経費率

	総経費率(①+②)	運用管理費用の比率 ①	その他費用の比率 ②
ダイワファンドラップ 日本株式セレクト	1.02%	0.48%	0.54%
ダイワファンドラップ 外国株式セレクト	1.21%	0.48%	0.73%
ダイワファンドラップ 外国株式セレクト エマージングプラス	1.47%	0.48%	0.99%
ダイワファンドラップ 日本債券セレクト	0.52%	0.24%	0.28%
ダイワファンドラップ 外国債券セレクト	0.93%	0.48%	0.44%
ダイワファンドラップ 外国債券セレクト エマージングプラス	1.02%	0.48%	0.53%
ダイワファンドラップ J-REITセレクト	0.74%	0.37%	0.36%
ダイワファンドラップ 外国REITセレクト	1.02%	0.37%	0.65%
ダイワファンドラップ コモディティセレクト	1.27%	0.37%	0.90%
ダイワファンドラップ ヘッジファンドセレクト	1.75%	0.48%	1.26%

※対象期間は2025年6月17日～2026年6月15日です。

※対象期間中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。)を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当り)を乗じた数で除した値(年率)です。

※その他費用には、投資先ファンドにかかる費用が含まれています。

※ダイワファンドラップ 日本株式セレクトの費用には、ラザード日本株式分散型ファンド(FOFs用)(運用管理費用以外の費用)が含まれていません。

※ダイワファンドラップ 外国株式セレクトの費用には、ダイワ/GQGグローバル・エクイティ(FOFs用)(適格機関投資家専用)(回金処理による計理上の損益)が含まれていません。

※ダイワファンドラップ 外国株式セレクト エマージングプラスの費用のうち、ダイワ/GQGグローバル・エクイティ(FOFs用)(適格機関投資家専用)(回金処理による計理上の損益)、MAN FUNDS PLC-MAN SYSTEMATIC EMERGING MARKETS EQUITY CLASS I JPY(リサーチフィー)が含まれていません。

※ダイワファンドラップ コモディティセレクトの費用には、L&G LONGER DATED ALL COMMODITIES U(支払利息)が含まれていません。

※ダイワファンドラップ ヘッジファンドセレクトの費用のうち、短期金利トレンドフォロー戦略ファンド(FoFs用)(投資対象とする連動債券)、JPMORGAN FUNDS EUROPE EQUITY ABSOLUTE ALPHA FUND(実績報酬、運用管理費用以外の費用)、CAMPBELL ABSOLUTE RETURN JAPAN FUND(実績報酬、運用管理費用以外の費用)が含まれていません。

上記以外のファンドについて、投資先ファンドにおいて含まれていない費用は認識していません。

※投資先ファンドの費用について、計上された期間が異なる場合があります。

※これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

※詳細につきましては、対象期間の運用報告書(全体版)をご覧ください。